ALLEN&HEATH

Digital Mixing Console for Professionals
dLive/Avantis/SQ Series

Digital Audio Matrix Processor
AHM

Zone Mixer
GR4

2024年11月版

Mission to just keep doing it better

音には、人間の本質的な何かを揺さぶるものがあります。

音は響きを伴い、
迫力あるパフォーマンスや体を突き抜ける心地よいサウンドはもちろん、
何が起こってもおかしくないという緊張感や高揚感をもたらします。

そんな音の渦中にあって
最も要求の厳しいライブシナリオに対応できる十分な処理能力と柔軟性を備えた
直感的かつ快適な「究極のミキシングシステム」を作ること。
これこそが、ALLEN & HEATHの設計目標です。

CONTENTS

XCVI Core

最新のFPGA技術を使用したXCVI Coreは、コア内にある6つのパラレルミキシングエンジンによりサンプル毎に1万以上のクロスポイントを演算し、FPGAルーターは3,000×3,000のオーディオ・パスの処理能力を装備。96kHzのサンプリングレートで多チャンネルを駆使する十分なパワーを生み出します。可変ビット深度は究極の精度とノイズ軽減を講じ、高音質と0.7msの低レイテンシーを実現しています。

多彩なアプリケーションに適したシステム

dLiveは、強力なプロセッシングと96kHzの高解像度で高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、本格的なライブや劇場でのショーに対応できるデジタル･ミキシングコンソールです。

また、シンプルなBGMや会議室から、教育施設、礼拝堂、会議場、観光施設など、あらゆる会場の音響を管理するツールを提供するサウンド・マネジメント･システムとしても機能します。

dLiveシステム

S Class / C Class

Surface（→p.6、p.7）

＋

MixRack（→p.8、p.9）

＋

必要に応じて

I/O拡張ユニット（→p.24～）

Networking Card（→p.19）

Surface

dLiveの設定、制御を行うコントローラー

Harmony User Interface

dLiveのサーフェスには、12インチの静電容量式タッチスクリーンを採用しています。ピンチ、スワイプ、ドラッグ＆ドロップに素早く反応し、直感的な操作が可能。エンジニアがミキシングに集中できるツールとなっています。

スクリーンを補完するのがロータリーコントロールで、スクリーンに表示される視覚的なフィードバックと調和しながら、ミキシングを創造性と即時性を持って触覚でコントロールできます。

ハイグリップ・ロータリーノブは正確なコントロールを可能にし、機能に応じて色がマッピングされたRGBイルミネーションを採用して視認性を高めています。また屋外など明るい場所でも高い視認性を維持します。

分かりやすいワークフロー

dLiveのサーフェスは、用途やエンジニアの感性に応じたカスタマイズが可能です。シーンやメーター、FXなどを管理するための独自の「ウィジェット」エリアを設置することもでき、作業効率が格段に向上します。

全入力とミックスはすべてのバンクやレイヤーにアサインできるほか、入力とミックスチャンネルは名前の設定や色分けが可能です。26個のソフトキーも用意しています。

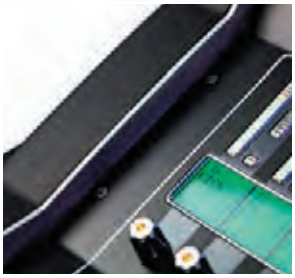
MixRack

dLiveのすべてのプロセッシングを実行するエンジン

DEEP Processing / Dyn8 / RackUltra/Extra FX

XCVI Coreの強力なプロセッシング能力により、数多くの音響効果を可能にするエフェクターやダイナミクスを内蔵しています。（→p.10、p.11）

優れた耐久性



dLive S Classのコントロール･サーフェスとミックスラックは、ハードなツアリングにも対応できるよう軽量化のバランスを考慮しながらも耐久性高く設計されています。

システム全体のオーディオ接続にリダンダントが可能。複雑で厳しい条件の現場にもエレガントに対応します。また、ホットスワップ可能なPSU設計を採用しており、予備電源の装備も可能です。

dLiveは、高い評価を得ている
XCVI 96kHz FPGAプロセッシングを採用し、
強力なプロセッシングと高音質を実現する
サウンド・マネジメントシステムです。

NEW

新たな機能を追加した新モデルdLive V2.0
既存のdLiveを新モデルの能力に引き上げるMixRack用RackUltra FXカードが登場！

dLive V2.0は高度なワークフロー機能を付加したdLiveの機能強化モデルです。RackUltra FXカードは非常にクリエイティブなエフェクトを数多く搭載し、既存のdLiveに装着することでdLive V2.0の全機能を使用可能にします。このアップデートによりエンジニアはワークフローを大幅に改善し、あらゆるライブサウンド環境でミキシング体験を高めるツールを手に入れることができます。

RackUltra FXカードは、すべての新しいMixRackに標準装備され、既存のMixRackにもアップグレードキットとして提供されます。このカードを装着することでdLiveシステムに8つのRackUltra FXエンジン（ステレオ専用センド/ リターンチャンネル、PEQ、ダイナミックプロセッシングを含む）を追加可能です。

RackUltra FXカードはカスタムFPGAコアとARMプロセッサーを組み合わせることでかつてないパワーを獲得しています。そのため、ライブ用コンソールではこれまで考えられなかった統合されたエフェクトを実装でき、dLiveは次世代のオンボードプロセッサーとして進化しています。RackUltra FXは市場で最も先進的なプラグインに匹敵する10の新アルゴリズムを搭載。シームレスで低レイテンシーなプロセッシングをライセンス不要で使用できます。プロ仕様のライブコンソールで、外部ハードウェアやサードパーティ製ソフトウェアを使用せずに、スタジオ品質のプロセッシングが可能になりました。（→p.11）

Component

必要なところにオーディオを提供

dLiveシステムは、オーディオが必要な場所に自由に配置することができます。ポータブルステージボックスから固定フォーマットのウォールパネルまで、様々な用途に対応したI/O拡張ユニットを用意しており、数十のオーディオポイントと数百の入出力を提供します。

各AudioRack間は最大100mのCATケーブルを使用でき、光ファイバーへの変更も可能。さらに、最大96台のリモートコントローラーをサポートしており、1つの部屋から最大規模のスペースまで、あらゆる会場に対応できます。

パーソナル・モニタリング・システムをアドオン

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。

明確でシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。

dLiveシステムとの親和性も高く、セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。（→p.30）

高度なネットワークに対応

dLiveシステムは、最大5つの128チャンネルI/Oポートを備え、業界標準プロトコル、GPIOインターフェース、包括的なTCP/IPコントロールプロトコルを採用。Danteインテグレーション、ブロードキャストフィード、マルチトラックレコーディング、ファイバーリンク、サードパーティコントロールなど、高度なオーディオネットワークに対応。時代の要求に応えるための装備を揃えています。

ユーザーフレンドリーなインターフェース

IPリモートコントローラーは、音量調整、音楽ソースの選択、プリセットの呼び出しなど、必要な要素へのアクセスをカスタマイズできるため、技術者でなくても簡単に操作できます。

また、Directorソフトウェアやi Padアプリを使えば、移動中でも簡単に設定にアクセスできます。（→p.17）

■サーフェスレス・ミキシング

システムの中核のMixRackとソフトウェアで、従来のコントロールサーフェスを排除した究極のミキシングシステムを構築できます。コントローラーのサーフェスをなくすことで機材を減らせるため、ツアリングにおける総重量の軽量化やスペースの厳しい現場も対応可能。

dLive MixRackとdLive Directorが動作するPC、そしてタッチスクリーンのシステム。持ち運びや保管が簡単で、IP8リモート・コントローラーを追加することで、フェーダーによるミキシングの感覚を維持できます。

dLIVE S Class

Surface

ALLEN & HEATHデジタル・ミキシングコンソールのフラッグシップモデル。
快適なコントロールでミキシングに集中できる直感的なコントロールサーフェス。

S7000

オープンプライス

視認性と操作性を両立

- 2画面、36フェーダー、26ソフトキー
- 216のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 寸法（W×H×D）：1325×413×728mm、質量：約41kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10037：ダストカバー
Option DL-S7FC：フライトケース
MPS16：電源ユニット
※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

S5000

オープンプライス

視認性とコンパクトさを追求

- 2画面、28フェーダー、26ソフトキー
- 168のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 寸法（W×H×D）：1115×413×728mm、質量：約35kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10036：ダストカバー
Option DL-S5FC：フライトケース
MPS16：電源ユニット
※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

S3000

オープンプライス

省スペースかつパワフル

- 1画面、20フェーダー、26ソフトキー
- 120のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 寸法（W×H×D）：870×413×728mm、質量：約28kg

※MixRackに接続して使用

付属品 AP10035：ダストカバー
Option DL-S3FC：フライトケース
MPS16：電源ユニット
※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

S Class / C Class 比較表

	S Class			C Class		
	S7000	S5000	S3000	C3500	C2500	C1500
12インチタッチスクリーン	2	2	1	2	1	1
フェーダー	36	28	20	24	20	12
バンク	3	3	2	2	2	1
ソフトキー	26			19		
ユーザーインターフェース	EQ、ソフトロータリー、プリアンプ、フィルター			EQ、ソフトロータリー		EQのみ
入力	8マイク/ライン、2 AES3			6マイク/ライン、1 AES3		
出力	8ライン、3 AES3			6マイク/ライン、1 AES3		
gigaACEリダンダント	○			—		
DX Linkリダンダント	○			—		
PSU	リダンダント、ホットスワップ			単一、内蔵		
I/Oポート	2×128 I/O、96kHz			1×128 I/O、96kHz		

dLIVE C Class

Surface

S Classと同等のエンジンパワーをコンパクトなポータブルフォーマットで実現。
スペースファクターの厳しい現場には、期待を裏切らないスマートチョイス。

C3500

オープンプライス

Cクラスで唯一2画面搭載

- 2画面、24フェーダー、19ソフトキー
- 144のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 3ページのアサインが可能な6個のロータリー

寸法（W×H×D）：885×325×665mm、質量：約28kg
※MixRackに接続して使用

付属品 AP10833：ダストカバー

C2500

オープンプライス

操作性に妥協しないパワフルモデル

- 1画面、20フェーダー、19ソフトキー
- 120のアサイナブル・フェーダーストリップ
- 3ページのアサインが可能な6個のロータリー

寸法（W×H×D）：775×325×665mm、質量：約24.5kg
※MixRackに接続して使用

付属品 AP10832：ダストカバー

C1500

オープンプライス

優れた機動性を発揮するコンパクトモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
- 72のアサイナブル・フェーダーストリップ
- MixRackの収まるラックの上に収まるサイズで、優れた機能性を発揮

寸法（W×H×D）：485×325×665mm、質量：約18kg
※MixRackに接続して使用

付属品 AP10831：ダストカバー
Option DL-DLC15-RK19：ラックマウントキット

CTi1500

オープンプライス

C1500に耐久性と軽量・コンパクト化を加えたモデル

- 1画面、12フェーダー、19ソフトキー
- 本体わずか11.5kg
- 軽量で耐久性に優れたチタン製のサイドパネルを採用
- そのほかの部分も、強度を保ちながら徹底的に軽量化を実現
- フロントパネルはC1500と同サイズ
- アームレストは滑らかなスチールカーブに置き換え

寸法（W×H×D）：440×337×644mm、
質量：約11.5kg
※MixRackに接続して使用

付属品 なし
Option なし
※C1500用のラックマウントキットは装着できません

dLive S Class

MixRack

**強力なプロセッシングと高音質を実現するXCVI Coreを搭載し、
リダンダント機能を施したフラッグシップdLive Sクラス用エンジン。**

DM64

オープンプライス

**アナログI/Oを
多く備えたモデル**

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×458×313mm、10U、質量:約21kg

Option DL-DM64-FC:フライトケース
MPS16:電源ユニット　※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

DM48

オープンプライス

**省スペースと
アナログI/O数を確保**

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×369×313mm、8U、質量:約17.5kg

Option DL-DM48-FC:フライトケース
MPS16:電源ユニット　※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

DM32

オープンプライス

アナログIOを抑えたコンパクトモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- 新型プリアンプを搭載
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能

寸法(W×H×D):482.6×325×313mm、7U、質量:約15kg

Option DL-DM32-FC:フライトケース
MPS16:電源ユニット　※出荷時は1台実装済み。電源二重化には計2台必要。

DM0

オープンプライス

4Uの最もコンパクトなサイズ

- アナログI/Oなし
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- XCVI Coreの強力なプロセッシングと高音質を最もコンパクトなサイズに集約
- リダンダント電源を標準装備
- オーディオディストリビューションが必要な状況やデジタルスプリットに最適。

寸法(W×H×D):482.6×176×355mm、4U、質量:約12kg

Option なし
※MPS16には対応していません。

S Class / C Class 比較表

	S Class				C Class		
	DM64	DM48	DM32	DM0	CDM64	CDM48	CDM32
入力	64	48	32	—	64	48	32
出力	32	24	16	—	32	24	16
プロセッシング	128入力チャンネル、64コンフィグバス						
FX	16 RackFXおよび独立したステレオリターン						
gigaACEリダンダント	○				—		
DX Linkリダンダント	○				—		
PSU	リダンダント、ホットスワップ			リダンダント内臓	単一、内蔵		
ME-1 48kHzポート	○						
I/Oポート	3×128 I/O、96kHz				1×128 I/O、96kHz		
System I/O	800×800以上				400×400以上		

dLive C Class

MixRack

XCVI Coreを搭載したdLive Cクラス用エンジン
PSUの設計を簡易化しリダンダントを省略。予算に応じたセットアップが可能。

CDM64

オープンプライス

多くのアナログI/Oが必要な現場に最適

- マイク/ライン入力×64、ライン出力×32
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法（W×H×D）：481.6×354.5×309mm、8U、質量：約13.5kg

Option なし

CDM48

オープンプライス

設置状況の制約がありながらもI/Oを必要とする現場に最適

- マイク/ライン入力×48、ライン出力×24
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法（W×H×D）：481.6×310×309mm、7U、質量：約12kg

Option なし

CDM32

オープンプライス

アナログI/Oを少なくし、物理的サイズを抑えたモデル

- マイク/ライン入力×32、ライン出力×16
- 96kHz、128入力チャンネル、64出力バス、16FX、24DCA
- TCP/IP経由でラップトップやiPad、ALLEN & HEATHのIPリモート、サードパーティ製コントローラーによる制御も可能
- 寸法（W×H×D）：481.6×221×309mm、5U、質量：約10kg

Option なし

World-Class Processing & FX

DEEP Processing

DEEPプロセッシング･アーキテクチャーにより、オーディオニュアンスをノンリニアで捉える高性能コンプレッサーやクラシックなサウンドを届けるプリアンプなどの、優れたプラグインを幅広くそろえています。

グラフィックEQ、コンプレッサー、64チャンネルのオートマチック･マイクミキサーなどの独自アルゴリズムの数々は、FXスロットのリソースを使用することなく、外部プラグインのセットアップやレイテンシー、ライセンスなどの手間をかけずに、必要に応じてチャンネルインサートできます。

ファームウェアのアップデート時に随時追加されており、使いやすさも都度向上しています。

●コンプレッサー
BUS / Peak Limiter 76 / OptTronik / 16T / 16VU / Mighty / Opto

●エキスパンダー
Source Expander / Dual Threshold Expander

●プリアンプ
Dual Stage Valve / Tube Stage

●EQ(PEQ/GEQ)
NEQ12 / Constant-Q / Proportional-Q / Digi-Q / Hybrid

●オートマチック･マイクミキサー(AMM)

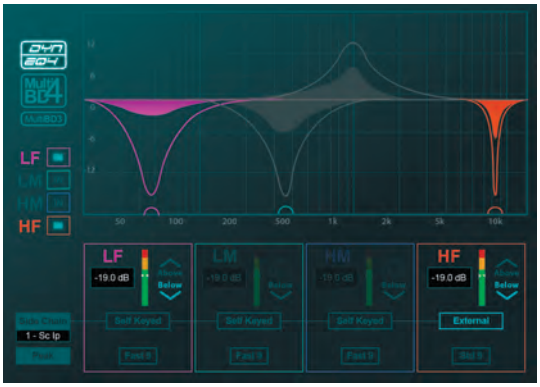
会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンで、最大64のマイクの音量を自動的に制御します。ハウリングのリスクを軽減するだけでなく、マルチマイクを使用した場面で一般的な問題となるチャンネル間の位相干渉を最小限に抑制します。

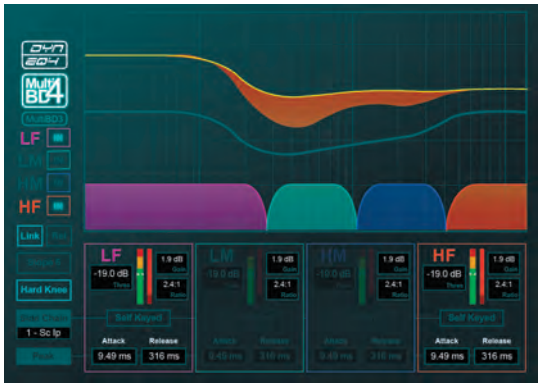
■ひとつのインターフェースから最大4つのゾーンを同時に制御。
1ゾーン:最大64のマイク
2ゾーン:最大32のマイク
4ゾーン:最大16のマイク
■動作モードは下記の2種類です。
D-Class:ダイナミックゲイン･シェアリングを採用し、素早く簡単にセットアップ可能
NOM:ロジックベースのオートマチック･ミキシング･アルゴリズムに基づいており、柔軟性の高いシステムを提供。

Dyn8

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド･コンプレッションを搭載した、パワフルで洗練されたプロセッサーです。ボーカルの調整、ドラムキットの修正、マスタリング、ミックスの引き締め、グルー感の追加など、多彩な用途で使用できます。

64個ものDyn8エンジンが用意されており、入力チャンネルやミックスチャンネルに挿入でき、自動でアサインされるので、パッチングのストレスがありません。





dLive V2.0 WHERE WORKFLOW AND FX INNOVATION SETS THE SCENE

高次元のFXとワークフローの革新がシーンを切り開く

dLive V2.0は、統合した創造的なFXと高度なワークフロー機能により、ミキサーの可能性を再定義する革新的なアップグレードモデルです。既存のdLiveユーザーもRackUltra FXをMixRackに装着することでdLive V2.0のすべての機能を手に入れることができます。

NEW

●全く新しいキューリスト管理

dLive V2.0は、キューリスト・システムを一新し、手動および自動リナンバリング・オプションとカスタムMIDIリコールでキューリスト作成を簡素化します。

●Action機能

1つのソフトキーで複数の機能をトリガー。ルーティングアサインやレベル、ABCD入力、プロセッシング、インサート イン/アウト、ストリップレイアウトなど、複数のチャンネルにまたがる機能を1つのソフトキーでトリガーできます。

●ミックスをチャンネルライブラリーに統合

チャンネルライブラリーはミックスを含むように拡張され、チャンネルはすべてのセンド、プロセッシング、名前/カラーデータを含む状態で保存できるようになりました。

●FPGAとARMプロセッシングのコンビネーション

Allen & Heathの定評あるFPGAテクノロジーとARMプロセッシングを組み合わせたRackUltra FXカードは、今後すべてのMixRackに標準装備されます。既存のMixRackのアップグレードとしても利用可能で、入力、バス、FXスロットを消費することなく、8つのRackUltra FXエンジン（専用のステレオセンドとリターンチャンネル、PEQとダイナミック処理を含む）をdLiveシステムに追加します。

●8つのRackUltra FXエンジン

既存の16台のRackExtra FXユニットに加えて、RackUltra FXコレクションから任意の8台のFXをセンドまたはインサートとして実行できます。8系統のステレオRackUltra FXセンドとリターンは独立しており、既存のバスに影響を与えません。

●内蔵PEQとダイナミクス

コンプレッサー、ゲート、エキスパンダー、ダッカー（すべてサイドチェイン付き）、4バンドPEQをすべてのFX入出力に搭載しました。

■RackUltra FXの新たなエフェクト一覧

RackUltra FXコレクションは、市場で最も先進的なプラグインに匹敵する10種類の新しいアルゴリズムが搭載されています。

●ボーカル・プロセッシング

スタジオ・クオリティのピッチ補正、シフト、グリッド処理を、外部ハードウェアやサードパーティ製ソフトウェアなしで実現。プロ仕様のライブ・コンソールで初めて、外部ハードウェアやサードパーティ製ソフトウェアを使用せずに、ピッチ補正、シフティング、グリッド処理を含むスタジオ・クオリティのボーカルプロセッシングツール一式を提供します。

Vocal Shifter

ボーカルを最大12半音上下にシフトすることができ、フォルマント・コントロールによりボーカルを根本的に変化させます。Vocal Shifterは、ピッチダブリングから、EDMやその他のエレクトロニック・ジャンルで聴かれる非現実的なロボット的エフェクトやエイジング・エフェクトまで、あらゆるエフェクトを作り出すことができます。

Vocal Tuner

自然なピッチ補正が可能で、聴感上の不自然さを最小限に抑えます。

Vocal Gridder

ヒップホップ、ポップス、トラップ、モダン・カントリーなど、数え切れないほどの作品で聴かれるような、より速く、より自然なピッチ補正を行います。

●ディストーション&サチュレーション

繊細なサチュレーションから強烈なギターアンプ・ディストーションまでカバーする2種類のディストーション・エフェクトです。

Saturator

5つのアナログサチュレーションモデルを搭載し、スムースで繊細なテープドライブからゲルマニウムやバルブクランチまでをカバーします。音源に温かみを与えたり、ダーティーなエッジを加えたり、より細く狭い帯域のエフェクトにカーブさせるのに最適です。

Amp+Cab Distortion

ギターアンプとベースアンプのハーモニックで複雑な特性をモデル化し、様々なクラシックなキャビネットの特性をエミュレートします。どんなキャビネットでも、どんなアンプでも使用でき、サウンドの可能性を最大限に引き出します。

●リバーブ

RackUltra FXカードのパワーを活用し、これまで想像もできなかったようなリアルな残響音をコンソール内で実現します。

Spaces Reverb Designer

初期反射、テクスチャー、ディレイの3つの個別処理エンジンにより、通常ハイエンドのハードウェア機器に搭載される驚異的にリアルな物理空間を再現するアルゴリズミック・リバーブです。Spacesは、短いアンビエンスや小さな部屋から、チャンバー、ホール、そして60秒以上のディケイまで、エンジニアが独自の空間をデザインできます。

Plate Reverb Designer

プレートリバーブの特徴的な立ち上がりと余韻の再現に特化しており、ダークに焦点を当てたものから生き生きとしたブライトなものまで、音源に合わせて複数のプレート素材から選択できます。また、物理的なプレートリバーブに期待されるみずみずしい余韻も再現できます。

●ハーモナイザー

3つの高機能かつ音楽的なハーモナイザーが、dLiveのボーカルエフェクトを新たな次元へと導きます。

Quad Voice Harmoniser

グローバルキー、ローカルキー、MIDI入力のいずれかに従って、最大4ボイスの自然な響きのボーカルハーモニーを生成します。

Dual Auto Key Harmoniser

Quad Voice Harmoniserと同じコア・エンジンを使用しながら、インテリジェントなAuto Keyモードを追加し、ギターやピアノなどのポリフォニック・ソースを使用して、演奏のキーをリアルタイムで自動的に決定します。

MIDI Harmoniser

DAWからの外部MIDI入力またはライブ演奏に基づいてハーモニーを作成し、音符間の動きをポルタメントするグライド・パラメーターを備えたモノフォニック・モードに加え、最大4ボイスのハーモニーをコントロールできるポリフォニック・モードを備えています。

その他の新機能

- Director Preview Mode：Directorからシーンを呼び出して更新し、ライブオーディオに影響を与えることなくシステムに保存
- すべてのRackExtraとRackUltra FXのFX Widthコントロール
- Director CSV インポート/エクスポート：チャンネル名、カラー、バッチ、プリアンプの設定をCSVファイルからインポート/エクスポート
- Directorのフィールドがキーボードで編集可能
- Dyn8ギャング
- 新しいMIDIオプションとコマンド
- MIDIコントロールドライバーをdLiveサーフェスに接続し、キューリストのコントロールが可能
- グローバルセンドとレシーブの有効/無効オプション
- グローバルキーのMIDIコントロール
- シーンGo、Next、PreviousのMIDI CCメッセージを設定可能
- RackUltra FXスロットごとにMIDIチャンネルを設定可能
- 選択したFXパラメーター（リチューン、トランジション、補正、キー、スケール、バイパスなど）に対して設定可能なMIDI CCメッセージ
- カスタムコントロールでマルチユニット設定をサポート
- タッチスクリーンによるPEQ幅のピンチコントロール
- すべてのAES出力ソケットの極性設定
- gigaACE高ジッター耐性モード
- PAFL Ext InからWedge/IEM出力への独立したOn/Offとプリ/ポストコントロール
- AESカードのPro/Consumerモード設定

Connecting to dLive

S Class Surface

S7000、S5000、S3000のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。

※画像はS3000
※I/Oポート4にWaves3カード、I/Oポート5にDante128カードが挿入されています。

※オプションカードが装着された画像です。

拡大

本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードM-DL-GACE（gigaACEカード）(→p.19) をご使用ください。

C Class Surface

C3500、C2500、C1500、CTi1500のI/OポートやI/O端子などの数は同じです。

※画像はC3500

I/O Port

拡大

本体のgigaACEポートは、MixRackとの接続用です。I/O拡張ラックとの接続には、DX Linkまたはオーディオ・ネットワーキングカードM-DL-GACE（gigaACEカード）(→p.19) をご使用ください。

dLiveのシステム構成

ミニマルスタイル

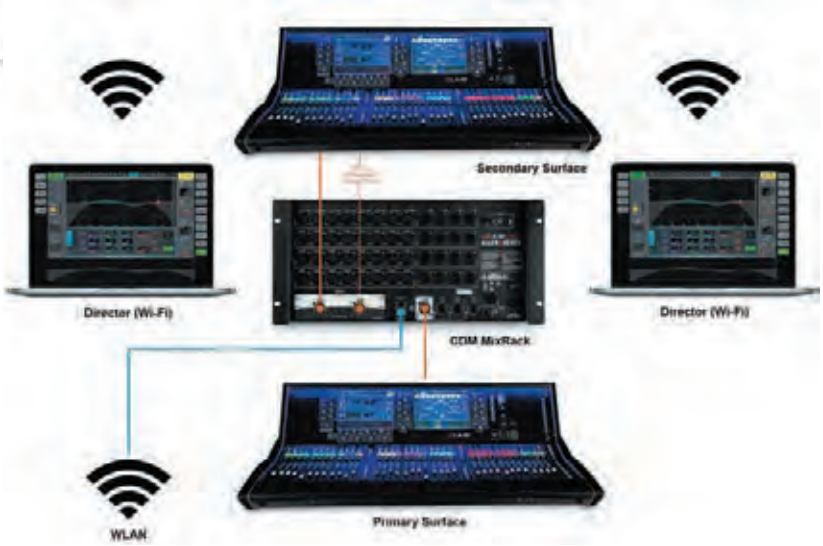
機材を最小限に抑えたサーフェスレスミキシングスタイル。
重要なミックスはIP8のフェーダーコントロールでサポート。

イベントPA･ライブハウス

サーフェスとMixRackで基本的に構成するコンパクト構成。
限られたスペースでもフル･ミキシングパワーを発揮。

コンサートツアー･ホール設備

CDM MixRackは最大2台のサーフェス、DM MixRackなら最大4台のサーフェスと接続可能。
FOH/Monitorセットアップは勿論、パラレルミキシングも可能な大規模ミキシング構成。



avantis

圧倒的なコストパフォーマンス。
高級感を纏い、高性能を凝縮させたオールインワンモデル。

Avantis / Avantis Solo

オープンプライス

フェイズ・コヒーレント・ミキシング

バス・プロセシングのレイテンシー補正は、ルーティング経路によらず、同種のミックス出力信号の位相を揃えます。
これにより、システム・レイテンシー（アナログ入力～アナログ出力）を0.7ms以下に保ったまま、コーム・フィルタリングを気にすることなく明瞭で一貫したミックスを楽しめます。
※Dyn8、インサートを使用する場合またはバスをインプットに送る場合は、レイテンシーが補正されません。

オートマチック・マイクミキサー（AMM）

最大64のマイクの音量を自動的に制御し、ハウリングのリスクを軽減。会議やパネルディスカッションなどスピーチが主になるシーンに。

1、2、4のゾーンで最大64chを使用可能
1ゾーン：最大64
2ゾーン：最大32
4ゾーン：最大16

フルメタルシャーシ

- これまでにないほどの厳しいテストをすべてクリアしたパーツを採用。
- 滑らかな曲線をメタルで作成。
- 性能と信頼性を追求して設計され、かつてないほどの強靭さと軽量化を実現。

便利なアプリケーションソフトを用意 （→p.17、p.35）

Avantis / Avantis Soloの共通機能

- 96kHz、64チャンネル/42バス
- 超低レイテンシー（0.7ms）を実現したXCVI Core搭載
- 設定可能なミックスバス構成
- 2つの15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーンを搭載
- 12×RackExtra FXスロット（専用ステレオリターン付き）
- 16×DCA（Digitally Controlled Amplifier）
- ユーザーが設定可能なロータリーコントロール
- 24×アサイナブルソフトキー
- フルアサイン可能なレイアウト
- 144本のフェーダーストリップ（24本のフェーダー、6つのレイヤー）、右端4本は設定でマスターフェーダーへ設定可能
- SLinkポート、12XLR入力／12XLR出力、1AES入力／2AES出力、2つのI/Oポート（96kHz、128×128）、BNCワードクロック搭載
- ステレオ再生／録音用の内蔵ストレージ、USBステレオ再生
- 寸法（W×H×D）：917×269×627mm、質量：約26kg。

Avantis / Avantis Solo 比較表

	Avantis	Avantis Solo
ディスプレイ	2×15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーン	1×15.6インチフルHD静電容量式タッチスクリーン
ソフトキー	24×アサイン可能なソフトキー	18×アサイン可能なソフトキー
フェーダー/レイヤー	24フェーダー/6レイヤー	12フェーダー/6レイヤー
ローカル入力	アナログ入力12系統、ステレオAES入力1系統	アナログ入力6系統、ステレオAES入力1系統
ローカル出力	アナログ出力12系統、ステレオAES出力2系統	アナログ出力6系統、ステレオAES出力1系統
寸法・質量	W917×H269×D627mm、約26kg	W546×H269×D627mm、約17.5kg

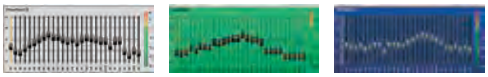
Avantis Free Pack

（無償プラグイン）

無償のプラグインとして、Graphic EQ3モデルとTube Stage Preampが追加できます。

▼DEEP GEQ

DEEP GEQは、28バンドの精密なグラフィックイコライザーで、+/-12dBのブーストとカットが可能。メインのLRミックスとすべてのAUX、グループ、MTXに対応しています。
▷Proportional Q　▷Digi-EQ　▷Hybrid



▼DEEP Preamp

dLiveの真空管プリアンプモデル「Dual Stage」のエンジンを利用しており、6つのプリセットとシンプルなコントロール・セットにより、非常に繊細な色付けからハーモニックなオーバードライブまで、本物のチューブ・キャラクターを素早く設定することができます。
▷Tube Stage

RackExtra FX　12個の専用FXラック。

ALLEN & HEATHは、こだわりに近い情熱を持って、定評あるアウトボード機器にインスパイアされた一連のFXを作成。1チャンネルに12個のスロットのうち1つだけを使用します。12個のFXスロットはそれぞれ専用のステレオリターンを備えているため、入力チャンネルを無駄にしません。

▶SMR Reverb
▶Stereo Tap Delay
▶Bucket Brigade Delay
▶Echo
▶Gated Verb
▶ADT Doubler
▶Chorus
▶Symphonic Chorus
▶Flanger
▶MOO 12 Stage Phaser
▶De-Esser
▶Dimension Chorus

※dPackを購入すると、以下のFXも追加されます。
▶Transient Controller
▶Hypabass

Avantis dPack（有償プラグイン）

Avantisに搭載された強力なプロセッシング･ツールでほとんどの要求に対応できますが、dLiveで使用されているプロセッシングを導入することで、表現力をさらに向上できます。

dPACK - DEEP

DEEPは、プラチナセラーのアーティストのツアーで使用されている、優れたプラグインです。
信じられないようなエミュレーションを、Avantisの入力チャンネルとミックスチャンネルにゼロレイテンシーで直接アサインします。
FXスロットを使用せず、サードパーティの機材に煩わされることなく、レイテンシーや位相の整合性の問題もありません。

▶DEEP Compressors
▶DEEP Expanders
▶DEEP Preamp

dPACK - DYN8

Dyn8は、4バンドのダイナミックEQと4バンドのマルチバンド･コンプレッションを備えたパワフルで洗練されたプロセッサーです。
dPackでは、16のDyn8エンジンを入力チャンネルやミックスチャンネルにインサートすることができます。
サブグループをタイトにしたり、ボーカルの調整やミックスへのグルー感の追加など、様々な用途に使用できます。

▶16×Dyn8 instances

Option

AVANT-BRKT
（Avantis/Avantis SOLO共通オプション）

オープンプライス

Avantis MixPadを搭載したタブレット端末を装着するブラケット。タッチスクリーンでのコントロールと視認性の向上に最適。

AP12151　オープンプライス

Avantis用ダストカバー。
＆とAvantisロゴが印象的。

AP13601　オープンプライス

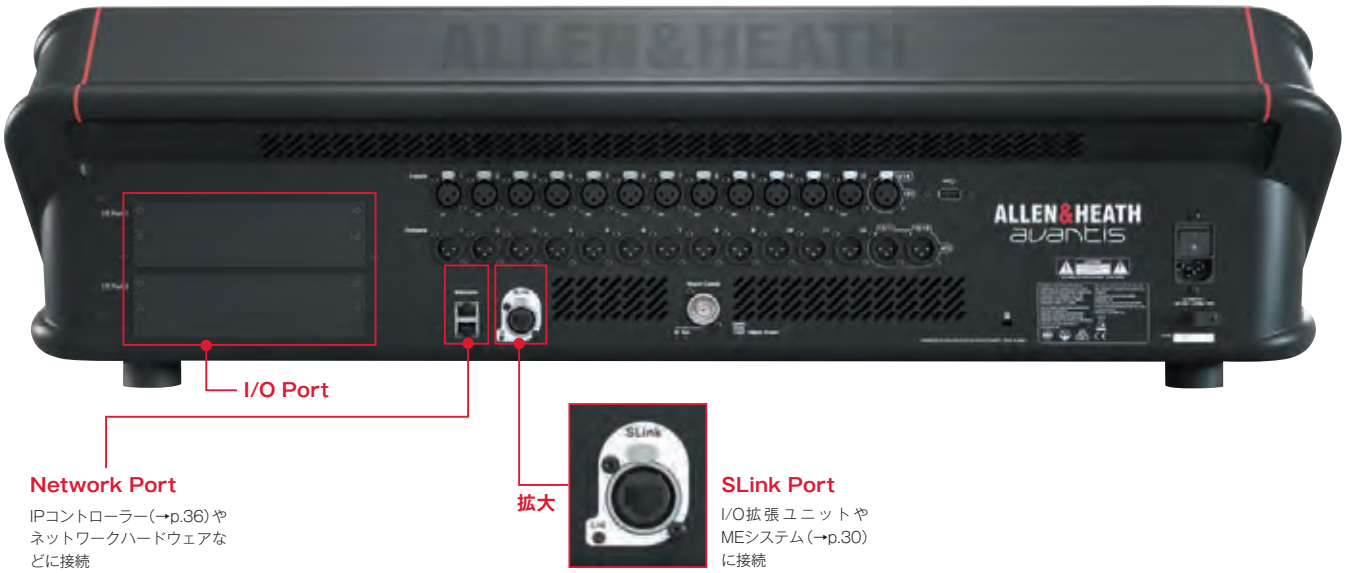
Avantis SOLO用ダストカバー。

●パーソナル･ミキシングを簡単にアドオン
ME PERSONAL MIXING SYSTEM (→p.30)

●リモートコントロールも可能 (→p.36)

Connecting to Avantis

Avantis

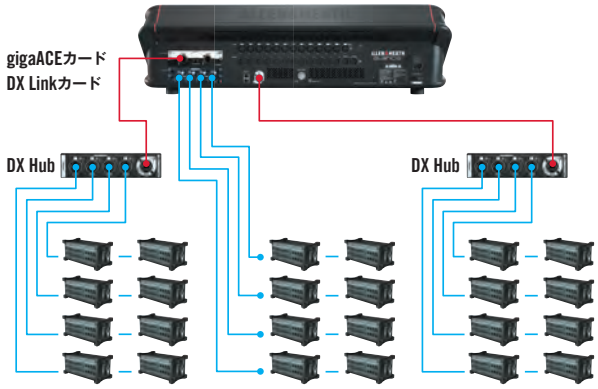


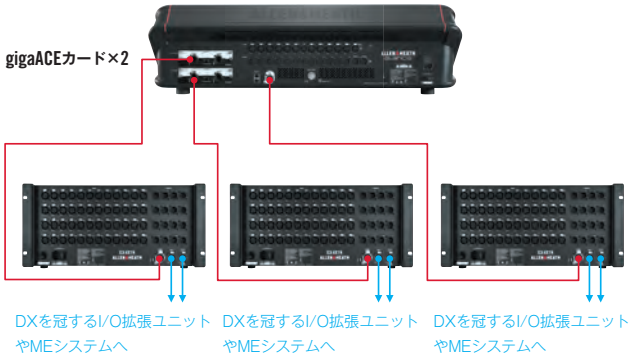
Avantisへの接続例

SLinkポートを使用すると、1台のDX32または最大2台のDX168/DX164-W/DX012/DX88-P拡張ユニットを直接接続できます。

SLinkポートとI/Oポートを利用して、最大2枚のDX Linkカード、またはgigaACEカードとDX Hubを最大2組構成すると、最大24台のDX168/DX164-W/DX012/DX88-P拡張ユニットの接続が可能です。

SLinkポートを利用し、I/OポートにgigaACEカードを2枚装着すると、3台のGX4816の接続が可能です。





Software dLive / Avantis

dLive Director / Avantis Director

アプリケーションソフトウェア

ノートPCやタッチタブレットを使って、ルーティング、I/Oパッチ、Surfaceレイアウト、シーンの設定、バスコンフィグの設定、ネットワークの設定などのシステム構築を可能にします。
※MacとWindows OS（Windows Surface Proを含む）に対応。

オフライン

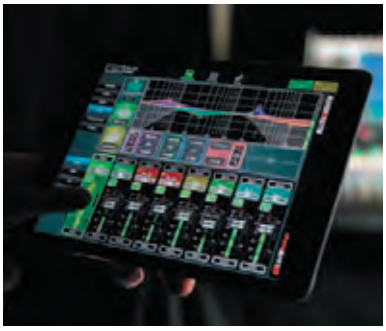
dLive Director/Avantis Directorのオフラインモードでは音響システムのプリセッティングを行ったり、ゲストエンジニアから送られてきたShowファイルを編集してからUSBメモリーに移し、会場でコンソールを読み込むことができます。

オンライン

オンラインモードではコンソールから離れた場所でフルコントロールを行えます。特にdLiveはサーフェスを必要とせず、MixRackと直接接続してPCからコントロールを行えるため、極めて最小限の機材でミキシングを完了できます。

MixPad

モバイル・ミキシングアプリ



iPadでワイヤレスミックス

MixPadは、ミキシングやプロセッシングをコントロールするエンジニアのためのモバイル・ミキシング・ツール。客席やステージを自由に歩き回り、必要な場所からサウンドをコントロールすることができます。

MixPad と dLive Surface/Avantisを連動させることで、それぞれの機能を同時にコントロールすることができます。
例えば、ひとりのエンジニアがSurfaceを使ってFOHのサウンドをミックスし、もうひとりのエンジニアがiPadを使ってステージモニターをミックスすることができます。
また、複数のiPadを接続し、それぞれを独立してコントロールすることも可能です。

コントロール可能な機能

- ■フェーダーレベル、ミュート、パン
- ■AuxとFXのセンド、ルーティング、Pre/Postの切り替え
- ■FXタップテンポ、グローバルタップテンポ
- ■マトリックスセンド、ルーティング、プリ／ポストの切り替え
- ■DCAマスターとアサイン
- ■プリアンプのゲイン、パッド、48V
- ■トリムとポラリティ
- ■HPF、ゲート、PEQ、GEQ、コンプ、ディレイ
- ■RTA機能
- ■チャンネル名とカラー
- ■PAFLセレクト
- ■フルシグナルメーター
- ■チャンネルレイアウトを自由に変更できるカスタムストリップ

Download on the App Store　App Storeから無料でダウンロードできます。

OneMix

パーソナル・ミキシング・アプリ

OneMixは、dLiveとAvantisのパーソナル・ミキシング・アプリです。管理者がWi-FiでdLiveやAvantisに接続して複数のiPadをセットアップ。他のモニターやFOHのミックスに影響を与えることなく各ミュージシャンにカスタマイズされたパーソナル・モニターを提供できます。また、演奏者も自分のモニター・ミックスを自分の好みに調整できます。

コントロール可能な機能

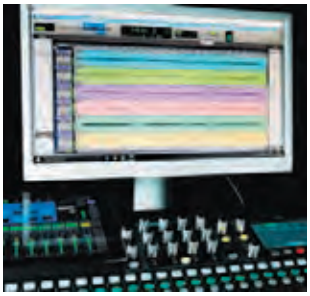
■ユーザーとしてログオンすることで、個別のコントロールが可能。
モニター（Aux）のマスターレベルとミュート
モニターマスターのPEQ、GEQ、Comp
モニターへのセンドレベルとステレオパン
センドミュート、ゲート、PEQ、GEQ、Comp

■管理者としてログオンすることで、カスタムセットアップが可能。
ユーザーを識別するためのOneMixセッション名の設定
Aux（モニター）ミックスの選択
My Mix レイヤーと最大3つのカスタムレイヤーの割り当て
センドの割り当て－入力、FXリターン、グループ
DCAマスターのアサイン
各レイヤーに名前を付ける
レイヤーごとのプロセッシングやミュートの有効化／無効化　など

Download on the App Store　App Storeから無料でダウンロードできます。

MIDI Control

PC上のDAWソフトウェアをコントロール



Mac OSまたはWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、それをミキサーに接続します。

- ■HUIやMackie ControlのプロトコルをエミュレートすることでMac OSやWindows上のDAWソフトウェアをコントロール。また、MIDIプロトコルに基づいてミキサーをコントロールすることも可能。
- ■デジタルミキサーのコアと直接MIDIメッセージを送受信し、ミキシングパラメータやシーンチェンジなどの機能をリモートコントロールできます。
- ■標準的なCCメッセージを使用して、最も一般的なミキサーパラメーターをコントロールし、自動化できます。

Custom Control for dLive/Avantis

（→p.35）

ALLEN & HEATH独自の AoE (Audio over Ethernet) プロトコル

ALLEN & HEATHが独自に開発したAoEプロトコルは、デジタル・ミキシングシステムとI/O拡張ユニット間をシームレスに動作するように設計されており、デイジーチェーン型とスター型の両方のトポロジーを利用して、柔軟な音声分配とI/O機器の配置を可能にしています。

各接続はCAT5e以上のケーブルを使用して最大100m、光ファイバーを使用すればそれ以上の長さも可能で、小規模な会場から大規模なキャンパスまで、あらゆる規模のアプリケーションに対応できます。

各プロトコルの制御には、応答性の高いレイヤー2プロトコルを使用しており、高速な接続と即時の動作を実現しています。オーディオと同時に制御データも送信。拡張ユニットの接続時に適用され、ファームウェアのマッチングも自動で行われます。gigaACEでは1000BASE-T（ギガビットイーサネット）、GX、DX、dSNAKEでは100BASE-TX（ファストイーサネット）です。

SLink とは?

SLinkは、gigaACE、GX、DX、MEでの接続に対応したマルチプロトコルポートで、接続されたものに応じて自動的にモードを切り替えるインテリジェントなポートです。
接続された機器を感知し、それに応じてモード、ビットレート、チャンネル数、サンプルレートを自動で切り替えます。また、デジタルスプリット用途やDX Hubとの接続などにも対応しています。

gigaACE

gigaACEは、ギガビット・イーサネットをベースに、96kHz、24bitで128×128チャンネルを提供するプラグアンドプレイシステムです。dLive SクラスのMixRackとサーフェス、およびオプションの「gigaACE」カードの使用時には、2つのリンクは常に稼働しており、どちらかのリンクにエラーが発生した場合やリンクが完全に失われた場合でも、音声や制御情報の損失はなく、シームレスなリダンダントを実現します。

制御メッセージに加えて、一般的なTCP/IPデータを双方向にブリッジングまたは「トンネリング」することができます。これにより、ネットワーク接続されたアンプやワイヤレスレシーバー、DMX over Ethernetなど、システム内に組み込まれた他のネットワーク対応機器の制御メッセージを、1本のケーブルで接続するだけで伝送できます。

※gigaACEプロトコルは、GX / DX /SLinkの各ポートと接続可能。この場合、96kHzで128×128チャンネルを伝送します。レイヤー2のプリアンプコントロールと自動ファームウェアマッチングは提供しますが、イーサネットトンネリングはありません。

GX

GXプロトコルのポートは、96kHzで128×128チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。

DX

DXプロトコルの各ポートは、96kHzで32×32チャンネルと制御データを伝送。接続時にDX拡張ユニットに設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。ペアでシームレスにリダンダント化するリダンダントモードと最大2台のDX拡張ユニットをデイジーチェーン接続できるカスケードモードのいずれかで動作。

ME/dSNAKE

MEおよびdSNAKEプロトコルは、48kHzでそれぞれ0×40および40×40チャンネルと制御データを提供。接続時に設定が適用され、ファームウェアの自動マッチングも行われます。各ME接続は、デイジーチェーン接続やME-UまたはPoEハブを介して、無制限の数のMEデバイスを接続できます。

	gigaACE (to gigaACE)	gigaACE (to DX Hub、GX または to/from SLink)	DX	ME dSNAKE
イーサネット	1000Base-T (Gigabit Ethernet)		100Base-TX (Fast Ethernet)	
サンプリングレート	96kHz			48kHz
チャンネル数	128* *dLive Surface とMixRack のリンクは300×300 ch以上	128	32	40
トンネリング	✓	—	—	—
リダンダンシー	✓	—	✓	—
ファームウエア自動マッチング	—	✓	✓	✓
レイテンシー	5samples (52us)	5samples (52us)	8samples (83us)	4samples (83us)
ケーブル長	<100m			

Networking Card dLive / Avantis

dLiveやAvantisのI/Oポートに挿入し、ネットワークを構築するオプションカード。
オーディオのリダンダントや必要な場所へIOの増設など、使用目的に応じて選択できるカードを多数用意しています。

ALLEN & HEATH Prietary AoE Protocol

M-DL-GACE(gigaACEカード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 128入力、128出力、96kHz
- 5サンプル(52us)の超低トランスポートレイテンシー
- デュアルリダンダンシー
- 切り替え可能なコントロールネットワークブリッジ

M-DL-GOPT(fibreACEカード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 128入力、128出力、96kHz
- 3つの動作モード
  - ▷Copper - CAT5e以上
  - ▷Fibre - Neutrik OpticalCon Duoマルチモード
  - ▷Convert - dLive MixRackとSurface間のリンクを光ファイバーに変換
- 5サンプル(52us)の超低遅延伝送
- デュアルリダンダンシー
- 切り替え可能な制御ネットワークブリッジ

M-DL-DXLINK(DX Linkカード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 4つのDXリンクポート
- ロック機能付きetherCONコネクター
- DX32、DX168、DX164、DX012、DX88-Pに対応
- 最大128入力、128出力
- リダンダントまたはパラレル接続モード
- 96kHzサンプルレート

Standard format

M-DL-WAVES3(WAVES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 128入力、128出力
- サンプルレート切替、48/96kHz
- Waves SoundGridネットワーキング
  プラグイン・プロセッシング、オーディオ・ディストリビューション、デジタル・マイク・スプリットなど
- マルチトラックの録音と再生
- 複数のデバイスを接続できる統合3ポートEthernetスイッチ
- Waves V2およびV3カードとの入力共有

M-DL-SMADI(SuperMADIカード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 8×BNC(4リンク)
- 8×SFPスロット*(モジュールは含まず)
- リンクごとにサンプルレートを切り替え可能
  48/96kHz
- ペアごとに切り替え可能なリダンダンシー
  smux / High-Speed
- 128 I/O(コアキシャル/オプティカル)、96kHz
- 96kHzモードはSmuxまたはHighSpeedのいずれかを選択可能

*マルチモードまたはシングルモードのLCを使用可能

M-DL-AES2in8out-A(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 2in 8out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz～192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション

M-DL-AES4in6out(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 4in 6out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz～192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション

M-DL-AES6in4out(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 6in 4out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz～192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション

M-DL-AES10out(AES3カード) オープンプライス

dLive/Avantis
オーディオ・ネットワーキング・カード
- 10out
- サンプルレート切り替え可能(96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz)
- 入力SRC 32kHz～192kHz
- AESの最初の入力から同期するオプション

M-DL-ADAPT(Audio Interface) オープンプライス

オーディオインターフェース
- M-Dante、M-Waves、M-ES-V2、M-ACE、M-MADIなど、iLive / GLDで使用されていたネットワークカードを搭載できるインターフェース。
- 48kHzで動作する64×64チャンネルのインターフェース。サンプルレートはインターフェースモジュール内でシームレスに変換。

※写真はM-Danteオーディオネットワークカード装着時

SQ

48ch、36バス
96kHz、XCVI Core採用
フェーダー数とローカルI/O数の異なる3モデル

SQ-7

オープンプライス

- フェーダーストリップ:192(32フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:32マイク/ライン、3ラインST(TRS)(2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:32+トークバック
- 出力:16ライン(XLR)、2ラインST(TRS)、1AES
- ソフトキー:16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー:8
- 寸法(W×H×D):804×198×514.9mm、質量:約17.8kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を最大2台装着可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット
AP11334:ダストカバー

SQ-6

オープンプライス

- フェーダーストリップ:144(24フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:24マイク/ライン、3ラインST(TRS)(2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:24+トークバック
- 出力:14ライン(XLR)、2ラインST(TRS)、1AES
- ソフトキー:16
- LCDディスプレイ付きソフトロータリー:4
- 寸法(W×H×D):638×198×514.9mm、質量:約14.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。

Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット
AP11333:ダストカバー

SQ-5

オープンプライス

- フェーダーストリップ:96(16フェーダー+マスターフェーダー、6レイヤー)
- 入力:16マイク/ライン、3ラインST(TRS)(2つは背面、1つはサーフェス)
- プリアンプ:16+トークバック
- 出力:12ライン(XLR)、2ラインST(TRS)、1AES
- ソフトキー:8
- 寸法(W×H×D):440×198×514.9mm、質量:約10.5kg
- オプション金具を使用してタブレット端末を1台装着可能。
- オプション金具を使用して標準的な19インチラックにマウント可能。

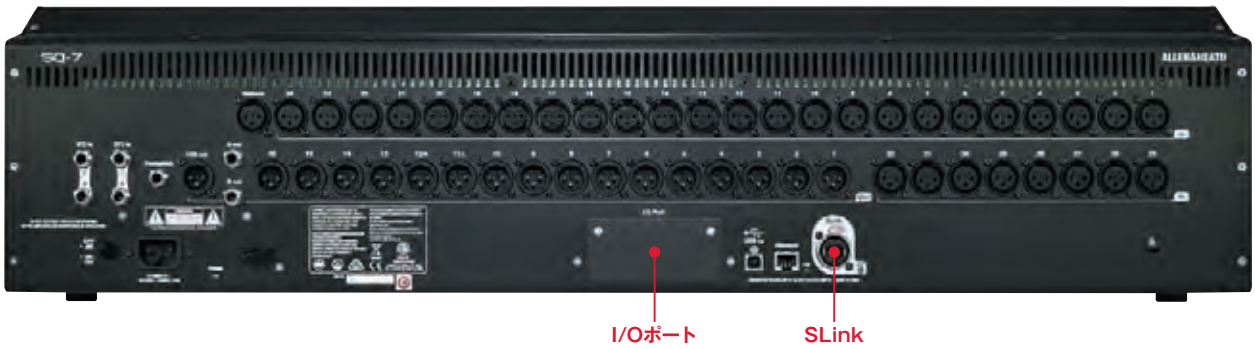
Option SQ-BRACKET:タブレット端末装着ブラケット
SQ-5-RK19:ラックマウントキット(→p.23)
AP11332:ダストカバー

共通性能

- 96kHz、48チャンネル/36バス
- 超低レイテンシー(0.7ms)を実現したXCVI Core搭載
- 各入力チャンネルに、プリアンプ、HPF、PEQ、ゲート、コンプ、ディレイ付き
- 12ステレオミックス+LR、3ステレオマトリックス
- 8ステレオFXエンジン(専用リターンチャンネル付き)
- マルチチャンネルUSBストリーミングおよびUSBドライブへのダイレクトレコーディング
- トークバックマイク入力、フットスイッチコントロール、ワイヤレスコントロール
- オプションで、dLiveで使用されているDEEP ProcessingやRackExtra FXの中の複数のコンプレッサー、イコライザー、プリアンプなどの使用が可能。

Connecting to SQ Series

SQ-7



SQ-6

SQ-5

Networking Card

M-SQ-DANT64(Dante64×64カード)

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ Seriesのファームウエア Ver1.5以上で使用可。

M-SQ-SLINK (SLinkカード)

オープンプライス

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。

M-SQ-WAVES3 (WAVESカード)

オープンプライス

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。

M-SQ-DANT32 (Dante32×32カード)

NEW　オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、32×32チャンネル。SQ Seriesのファームウエア Ver1.5以上で使用可。

M-SQ-MADI (MADIカード)

オープンプライス

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がペアになっているため、スプリットまたはリダンダントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

Processing & FX

●パワフルプロセッシング

■各チャンネルに、HPF、サイドチェーンとフィルターを備えた超高速ゲート、サウンドに躍動感を生み出す4バンドパラメトリックイコライザー、RMSコンプレッサーを装備。
■ミックスには、パラメトリック・イコライザー、28バンドのグラフィック・イコライザー、コンプレッサーを装備。

●ワールドクラスのFX

8つのステレオFXエンジンを搭載しており、定評のあるRackExtraライブラリも完備。
各エンジンには専用のステレオ・リターンが用意されているので、48の入力チャンネルを無駄にしません。

- ▶Spatial Modelling Reverb (SMR)
- ▶Stereo Tap Delay
- ▶ADT Doubler
- ▶Chorus
- ▶Symphonic Chorus
- ▶Flanger
- ▶MOO 12 Stage Phaser
- ▶Gated Verb

●アドオン・プラグイン（有償）

数々のワールドツアーで国際的なアーティストに使用され、数々の受賞歴のあるdLiveのDEEPプロセッシングがSQで使用可能になりました。また、RackExtra FXにもアイテムを増やすことができます。

DEEP Compressors

Peak Limiter 76

ブラックフェイスもあり

16T

16VU

Mighty

Opto

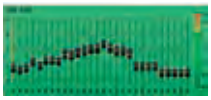
DEEP Preamps

Tube Stage Pre（無償）

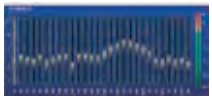
DEEP GEQs

Proportional Q

DiGi-Q



Hybrid



Constant-Q

RackExtra FX-Tools

MultiBD Compressor 4

MultiBD Compressor 3

RackExtra FX-Tools

DynEQ4

De-Esser

RackExtra FX-Effects

Echo

Hypabass

Bucket Brigade

for PROFESSIONAL Performance

●AMM（Automatic Mic Mixer）

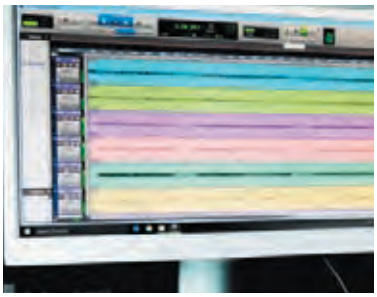
AMMは、スピーチを主とする会議、パネルディスカッション、劇場、放送など、多数のマイクを使用する状況で、マイクチャンネルのレベルを自動的にコントロールする機能です。
SQ SeriesのAMMは、D-Classicゲイン・シェアリング・アルゴリズムを使用して、アクティブなチャンネルのレベルを上げると同時に、割り当てられた他のチャンネルのレベルを下げます。また、特定のマイクを他のマイクよりも優先させるプライオリティレベルの設定も可能です。
最大24チャンネルのAMMを2つ搭載しています。2つのゾーンに24チャンネルずつ使用したり、大規模イベントでは1つのゾーンに48チャンネルを使用できます。

●MEパーソナル・モニタリング・システムにも対応

ミュージシャンの手元で完璧なモニターコントロールを実現するMEパーソナル・モニタリング・システムを簡単に導入できます。明確でシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。セットアップやサウンドチェックを円滑にしてエンジニアの負担を軽減します。（→p.30）

MIDI Control ソフトウェア（無償）

MIDI Controlは、Mac OSやWindowsで仮想のMIDIポートを作成し、DAWコントロールを実現します。
（→p.17）



●録音・再生、ストリーミングを可能にするUSBインターフェースを搭載

■32×32、96/48kHz、24bitのオーディオインターフェースにより、マルチトラックレコーディング、バッキングトラック再生、ライブストリーミング、バーチャルサウンドチェックが可能。
■SQ-Drive:USB-A
ステレオ/マルチトラックの録音・再生(フルバッチ)が可能。
16ch@96kHz、32ch@48kHz
※SQ-Driveのオーディオレコーディングおよびマルチトラック再生は、高い持続転送レートをサポートするUSBストレージデバイスである必要があります。一般的なUSBキーメモリは、BGMでの簡易的な再生には便利ですが、ほとんどの場合長時間の録音などで安定した持続性を得られません。
■USB Audio Streaming:USB-B
32×32、48/96kHz
■インターフェースはMac OS Xのクラスに準拠。Logic、Cubase、Reaper、ProToolsなどのCoreAudioをサポートするDAWで認識され、プラグアンドプレイが可能。WindowsではASIO™とWDMに対応したドライバーを用意。
■無償のMIDI Control ソフトウェアを使用して、一般的なDAWのフェーダーにマッピング可能。

SQ APP

SQ MixPad

ミキシング機能のオンラインコントロールやオフラインでの編集が可能。

■オンラインモードでは、主なミキシング機能を有線または無線でコントロールできます。エンジニアは異なるリスニングポジションからのミキシングが可能になり、ステージからのモニターミックスの設定、あるいはローカルコントロールを追加できます。
■オフラインモードでは、シーンやショーの保存・管理、ストリップアサインやチャンネルリストの編集、USBデバイスへのファイル転送(PCとMacのみ)、ミキサーとの間でショーを直接プッシュ/プルできます。
※iOS、Android、Windows、MacOSの各プラットフォームで利用可能。

SQ4You

SQシリーズのパーソナル・ミキシング・アプリ。

■最大8人のパフォーマーが自分のモニター・ミックスをAndroidまたはiOSデバイスからコントロールできます。
■12のモノラルまたはステレオミックスから選択
■コントロールするソースの割り当て(チャンネル、FXリターン、グループ)
■チャンネルの番号、名前、メーターの表示
■ミックスのマスターレベル、ミュート、PEQ、GEQ、コンプレッサーのコントロール
■ミックスセンドのレベルとパンのコントロール　など

※接続可能なSQリモートアプリの最大数は8で、SQ-MixPadは最大2つです。例えば、SQ-MixPadを2つ、SQ4Youを6つ、またはSQ-MixPadのインスタンスを1つ、SQ4Youのインスタンスを7つ接続することができます。

Option

SQ-BRACKET　オープンプライス

SQの後部にSQ MixPadを搭載したタブレット端末を装着するブラケット。SQ-5とSQ-6は1枚、SQ-7は2枚装着可能。スチール製。

ダストカバー　オープンプライス

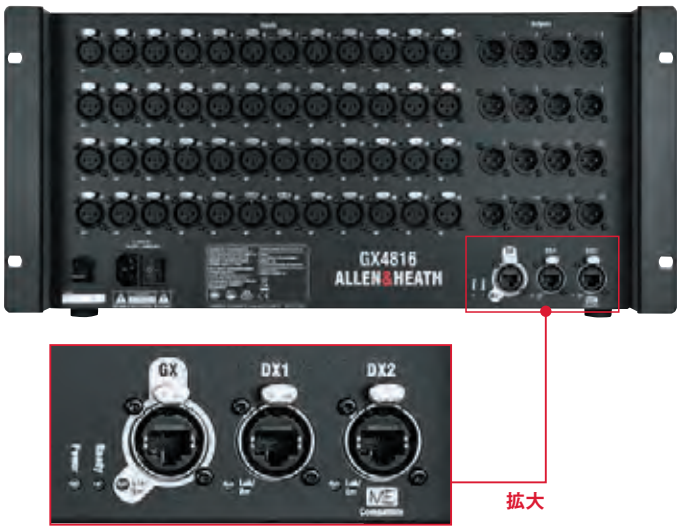
ポリエステル製のフィット感のある黒の撥水性ダストカバー(スクリーン印刷によるロゴ入り)。
AP11334:SQ-7
AP11333:SQ-6
AP11332:SQ-5

SQ-5-RK19　オープンプライス

SQ-5用ラックマウントキット。
標準的な19インチラックにマウント可能。

I/O Expander

入出力数を増やしたり、離れた場所で入出力が必要となった場合など様々なシチュエーションに対応できるI/O拡張ユニット群。充実したラインナップで、最適なシステムを簡単に構成することができます。シリーズをまたぐシステムでも使用できます。



GX4816 5U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 48マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、16ライン出力、96kHz、GXポート×1、DXポート×2（A / B）
- ラックマウント（5U）可能
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大：90W

▶GX：gigaACE（dLive）/ SLink（Avantis/SQ）（128×128）
DX 1：DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P（32×32）
DX 2：DX32または2台までのDX168 / DX164-W / DX012 / DX88-P（32×32）
または
DX 2：ME パーソナルモニタリングシステム（0×40）
※dLiveに接続している場合、機能しない

※画像は、リダンダント電源とオプションのI/Oモジュールを装着しています。

DX32 4U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 4入出力カードスロット、96kHz、電源ユニットMPS16×1（出荷時実装済み ※電源二重化には計2台必要）
- 2本のケーブルを使用してリダンダント接続が可能。
- ラックマウント（4U）可能。床置きとして使用する場合のプラスチック製の足も付属。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大300W

▶DX A：dLive Surface /MixRack、DX Hub、DX Link card、SLink
リダンダントを組む場合、
DX A、B：dLive S Class Surface / MixRack、DX Hub（×2）/ DX Link card

▶DX32用I/Oモジュール

高音質 32bit

M-DX32-INPR オープンプライス

PRIME Inputカード
8入力、32bit/96kHz ADCコンバーター搭載

M-DL-AIN オープンプライス

8マイク/ライン入力。ゲイン、パッド、48Vファンタム電源はプリアンプによるデジタルコントロール。

M-DL-DIN オープンプライス

4×ステレオAES3入力。サンプリングレート：32-192kHz、96kHzではバイパス。

高音質 32bit

M-DX32-OUTPR オープンプライス

PRIME Outputカード
8出力、32bit/96kHz DACコンバーター搭載

M-DL-AOUT オープンプライス

8ライン出力、バランスXLRコネクター。電源のOn/Off時のノイズを防止。

M-DL-DOUT オープンプライス

4×ステレオAES3出力。XLRコネクター（96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替）

DX012 1U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 12出力（切替：12アナログ、8アナログ+4AES3、4アナログ+8AES3）、DXポート×2（A / B）
- AES3出力周波数切替（96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切替）
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。 dLive S ClassやDX Link cardなどの互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデイジーチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- ラックイヤーは前面、背面どちらにも取り付け可能。※出荷時は、前面に取り付け。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大35W

付属品 ラックマウントキット※出荷時取り付け済み

DX168

オープンプライス

移動型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、8ライン出力、96kHz、DXポート×2（A / B）
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデイジーチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。
- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
- オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能（4U）。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大35W

Option AB1608-RK19：ラックマウントキット
AP9932：キャリーバッグ

AB1608-RK

DX164-W

オープンプライス

埋め込み型I/O拡張ユニット

- 16マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、4ライン出力、96kHz、DXポート×2（A / B）
- DX Bポートはカスケードとリダンダントのモード切替が可能。互換性のあるハードウェアのリダンダント接続や、DX168、DX164-W、DX012、DX88-Pのいずれか1台のDXエキスパンダーへのデイジーチェーン接続によるI/Oの追加が可能。
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※マウントフレーム使用。
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源としても使用可能。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大35W

付属品 AA11504：壁面固定用マウントフレーム
AC直接配線用グランドモジュール

I/O Expander

DX88-P NEW

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力（リコール可能な5~60dBゲイン、ファンタム電源供給、20dB Pad）、8ラインアウト（96kHz対応）
- 固定設備に最適なユーロブロックコネクタ。AHM、SQ、Avantis、dLiveシステムに対応。
- DC12V電源供給
- DX BポートはDX拡張ユニットを最大2台までカスケード可能。
- オプションでラックマウントキットを用意。前面、背面どちらにも取り付け可能で、1Uに2台並べての設置やDX HubやGPIOとの設置も可能。

Option DX88-P-RK19：ラックマウントキット

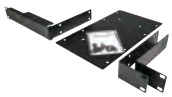
DX Hub

オープンプライス

拡張HUB

- RJ45（4DX Linkポート、1gigaACEポート）、AC電源
- 各DX Linkポートには最大2台のDX拡張ユニットを接続可能。
- dLiveやAvantisシステムで使用する際は、複数のDX Hubを使用することで、さらなる拡張やリダンダントが可能。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大5W

Option FULLU-RK19：ラックマウントキット



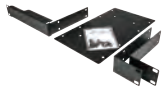
GPIO

オープンプライス

リモートコントロール用の汎用I/Oインターフェース

- フェニックス・コネクターによる8つの光絶縁入力と8つの常開（N/O）リレー出力。うち1つはノーマルクローズ出力（N/C）に設定可能。
- 2つの+10V DC出力（最大500mA）を装備。PoE（IEEE 802.3af-2003）対応。
- 最大8個のGPIOモジュールをCAT5ケーブルでdLiveシステムに直接または100Mb/sネットワークスイッチを介して接続。
- GPIOの機能は、dLive /Avantis Directorソフトウェア（PC/Mac）またはdLive SurfaceやAvantisを使ってプログラム可能。EVAC（アラーム/システムミュート）、放送（オンエアライト、フェーダースタートロジック）、シアターオートメーション（カーテン、ライト）など、様々な用途に対応。
- オプションのラックマウントキットで、19インチラック（1U/1/2幅）に設置可能。

Option FULLU-RK19：ラックマウントキット



EVERYTHING I/O

AvantisやSQシリーズで使用可能なI/O拡張ユニット。 ※dLiveでの使用不可。

AR2412 3U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 24マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、12ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1、MONITOR（ME）ポート×1、エキスパンダーポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。
- MEパーソナルミキサーに接続するモニターポートと、AR84やAB168にデイジーチェーン接続するエキスパンダーポートも搭載。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大70W

※dLiveシステムでは使用不可。

AB168

オープンプライス

移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、8ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1、エキスパンダー／MEポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。また、MEパーソナルミキサーに接続して40chを提供。
- AR2412やAR84へのデイジーチェーン接続も可能。
- 耐久性の高いラバーバンパーを備えた頑丈なデザインのため、ステージフロアに直接設置可能。
- 重量は4.8kgで、頑丈なキャリーハンドルを装備。
- オプションでラックマウントキットを用意。19インチラックに設置可能（4U）。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大40W

※dLiveシステムでは使用不可。

Option AB1608-RK19：ラックマウントキット
AP9932：キャリーバッグ

AR84 1U

オープンプライス

ラックマウント型I/O拡張ユニット

- 8マイク/ライン入力（ファンタム電源ステータスLED付）、4ライン出力、48kHz、dSNAKEポート×1
- dSNAKEはリモートプリアンプをコントロールし、すべてのマイクプリアンプはミキサーからシーンリコールが可能。
- AR2412やAB168にデイジーチェーン接続も可能。
- AC電源100V（3ピンIEC）、50/60Hz、消費電力：最大20W

※dLiveシステムでは使用不可。

CAT6ケーブル

オープンプライス

ALLEN & HEATHが推奨するプロフェッショナルグレードのCAT6 Etherflexケーブル。用途に合わせて長さを選ぶことができ、すべてNeutrik EtherConロッキングコネクタ付きです。

AH10884 20m CAT6ケーブル（STP、NEUTRIK etherCON）
AH10885 50m CAT6ケーブル（STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き）
AH10886 80m CAT6ケーブル（STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き）
AH10887 100m CAT6ケーブル（STP、NEUTRIK etherCON、ドラム付き）

Dante ネットワーク対応製品

Networking card

dLiveやAvantisをDanteネットワークに接続するためのネットワークカード。64×64と128×128を用意。

M-DL-DANT64 (Dante 64x64カード)

オープンプライス

- 64chのDante I/O (96kHzまたは48kHz) の双方向通信が可能

M-DL-DANT128 (Dante 128x128カード)

オープンプライス

- 128chのDante I/O (96kHzまたは48kHz) の双方向通信が可能

Danteオーディオ・ネットワーキング・カード 共通スペック

- リダンダンシーまたはスイッチオペレーションのためのプライマリおよびセカンダリオーディオポート
- コントロール・ネットワークの設定を行うための専用ポート
- dLive/Avantisコントロール・ネットワークとDanteコントロール・ネットワークをブリッジするネットワーク・ブリッジ・スイッチを内蔵
- Dante Virtual Soundcardによるマルチトラックレコーディング
  - ▷48kHzで64チャンネル
  - ▷96kHzで32チャンネル
- AES67対応
- DDM (Dante Domain Manager) 対応
- 既製のネットワークハードウェアを使用可能

※SQ SeriesでDanteネットワークに接続する場合は、M-SQ-DANT64 (→p.21) を使用してください。

I/O Expander

Danteネットワークに対応するI/O拡張ラック。移動型と設置型の2種を用意。

DT168

オープンプライス

移動型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、8ライン出力、96kHz/48kHz、1PSU、2RJ45 (Danteポート Primary/Secondary)
- ラバーバンパーとハンドルが付いた持ち運びに便利なモデル。
- プライマリポートとセカンダリポート装備。デイジーチェーン接続やリダンダントが可能。
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQ、AHMの各システムに、Danteカードを装着することで最大16台まで追加可能。

Option AB1608-RK19:ラックマウントキット
AP9932:キャリーバッグ

DT164-W

オープンプライス

埋め込み型I/O拡張ユニット。

- 16マイク/ライン入力、4ライン出力、96kHz、Danteポート×2 (Primary/Secondary)、DC入力 (3A,12V)
- プライマリポートとセカンダリポート装備。デイジーチェーン接続やリダンダントが可能
- 壁掛けやステージ上への設置が可能。※マウントフレーム使用
- AC電源、およびDC12V電源の供給が可能。DC電源はリダンダント電源として使用可・AES67対応
- Dante Domain Manager対応
- dLive、Avantis、SQの各システムに、Danteカードを装着することで最大16台まで追加可能。

付属品 AA11504:壁面固定用マウントフレーム
AC直接配線用グランドモジュール

DT Preamp Control ソフトウェア

複数のDTユニットのリモートコントロールが可能となり、Danteを搭載したサードパーティ製デジタルミキサーやサウンドマネジメントシステムとDTエキスパンダーの使用が可能となります。

ALLEN & HEATHのウェブサイトから
無料でダウンロードできます。
https://www.allen-heath.com/dt-preamp-control/

- DT168およびDT164-Wのリモートコントロール
- プリアンプゲイン、+48V、パッドのコントロール
- DT I/O拡張ユニットのファームウェア・アップデータを含む
- ネットワークインターフェースの選択
- 最大16台のDT機器の制御

Dante™

I/O Interface

**Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍。
コンパクトなサイズなので、テーブルや演台の下に設置してローカルマイクを接続したり、
ステージ上やFOHで必要な場所にラックマウントしたりすることができます。**

DT20

**Dante
入力インターフェース**

DT20 オープンプライス

- Dante入力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×コンボジャックのマイク/ライン入力
- PoE電源または電源アダプター
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option
DT-RK19：ラックマウントキット

DT20-M オープンプライス

- Dante入力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×コンボジャックのマイク/ライン入力
- PoE電源（外部電源なし）
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具（DT-SMK）付属

DT02

**Dante
出力インターフェース**

DT02 オープンプライス

- Dante出力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源または電源アダプター
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option
DT-RK19：ラックマウントキット

DT02-M オープンプライス

- Dante出力インターフェース、48kHz/96kHz
- 2×XLRライン出力
- PoE電源（外部電源なし）
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具（DT-SMK）付属

DT22

**Dante
入出力インターフェース**

DT22 オープンプライス

- Dante入出力インターフェース、48kHz/96kHz
- ユーロブロック・コネクター、2入力×2出力
- PoE電源または電源アダプター
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- ゴム足付属

Option
DT-RK19：ラックマウントキット

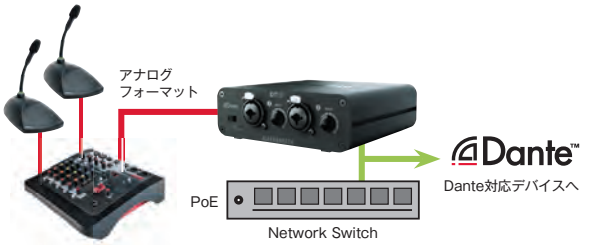
DT22-M オープンプライス

- Dante 入出力インターフェース、48kHz/96kHz
- ユーロブロック・コネクター、2入力×2出力
- PoE電源または電源ボックス
- 頑丈なアルミニウム製ボックス
- サーフェスマウント金具（DT-SMK）付属

Danteとアナログフォーマットのコンバーターとして活躍！

・標準的なイーサネットケーブル1本でDanteネットワークに組み込めるうえ、PoE給電に対応。
・テーブルや演台の下などAC電源を確保できないシチュエーションでの運用を想定。
・いずれもDDM（Dante Domain Manager）、AES67に対応。

▼DT20を使用した例

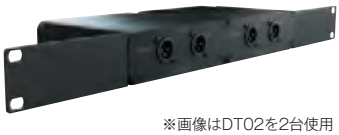


●「-M」モデル用取付金具

※画像はDT02-Mを使用

サーフェスマウント金具
DT-SMK オープンプライス

-Mのつく固定設備用モデルの付属品。スペアとして購入可能。
取付面は、上下どちらにも装着可能。



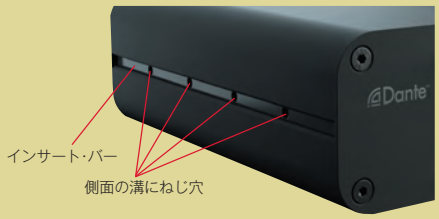
※画像はDT02を2台使用

ラックマウントキット
DT-RK19 オープンプライス

2台までのDTシリーズを取り付け可能。

固定設備用「-M」モデルについて

DT02-M、DT20-M、DT22-Mは、側面の溝にインサート・バーが取り付けられています。インサート・バーのねじ穴を使用して、付属のサーフェスマウント金具を取り付けます。



Personal Monitoring System

ME PERSONAL MIXING SYSTEM

明確なビジュアルフィードバックによるシンプルなコントロールで各パフォーマーに最適なサウンドを提供。
セットアップを迅速化し、サウンドチェックを円滑に行えます。

ME-1

オープンプライス

40chパーソナル・ミキサー

- ■レベルとパンコントロールを備えた40の入力
- ■調光可能な有機ELスクリーンと16×バックライト付きアサイナブルキー
- ■コンソールのバスを使用せずにME-1内でグループ化が可能
- ■16ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存して、任意のME-1ユニットで呼び出すことも可能。
- ■すべてのチャンネルとグループにカスタムネームを表示。コンソールに接続するとコンソール側から自動的に取得。
- ■マスター3バンドEQとリミッターを搭載
- ■MP3プレーヤー、クリックトラックなどのAUX入力を装備
- ■アンビエントマイク、シグナルジェネレーター搭載
- ■ヘッドホン出力（TRS、ミニ）
- ■主電源またはPoE電源
- ■デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用

仕様

- 周波数特性：20Hz～20kHz（+0/－1dB）
- AD/DA変換：24bit、48kHz
- 残留出力ノイズ：－95dBu
- ヘッドホン出力：300mW+300mW@100Ω負荷、最大：+21dBu
- モノ出力：平均0dBu / 最大+18dBu
- Aux入力：平均－8dBu / 最大+10dBu / インピーダンス＞10kΩ
- PoE（802.3af：15.4W）またはPoE+（802.3at：30.0W）
- PoE要求性能：PoE時、下限10W（PoE ハブでは15W）
- 外部電源：入力：100V AC、50/60Hz / 出力：12V DC、1.25A
- 寸法・質量：W227×H68.5×D160mm、1.1kg

付属品
マイクスタンドブラケット、ヘッドホンハンガー

Option
IP6-ME-MOUNT：ウォールマウントブラケット

ME-500

オープンプライス

16chパーソナル・ミキサー

- ■レベルとパンコントロールを備えた16モノラル/16ステレオ入力
- ■マスター2バンドEQとリミッターを搭載
- ■ミキサーからアサインされた最初の16個のモノラル/ステレオチャンネル、およびミックスは、16個のセレクトキーに自動的に割り当て
- ■8ユーザープリセット。レベル、パン、ミュート、キー・アサインをすべて保存し、ボタンを押すだけで呼び出しが可能。プリセットはUSBに保存でき、他のME-500へ簡単に転送可能。
- ■ヘッドホン出力（TRS、ミニ）
- ■ソロ、ミュートキー
- ■主電源またはPoE電源
- ■デイジーチェーンまたは標準のPoEイーサネットハブを使用
- ■マイクスタンドブラケットとヘッドホンハンガーは別売りです。

仕様

- 周波数特性：20Hz～20kHz（+0/－1dB）
- AD/DA 変換：24bit、48kHz
- 残留出力ノイズ：－95dBu
- ヘッドホン出力：300mW+300mW @100Ω負荷、最大：+21dBu
- PoE（802.3af：15.4W）またはPoE+（802.3at：30.0W）
- PoE要求性能：PoE時、下限10W（PoE ハブでは15W）
- 外部電源：入力：100V AC、50/60Hz /出力：12V DC、1.25A
- 寸法・質量：W227×H70×D160mm、1.1kg

Option
AB8999：マイクスタンド取付ブラケット
AA8705：ヘッドホンハンガー
IP6-ME-MOUNT：ウォールマウントブラケット

ME-1とME-500 どちらを選ぶ？

似たような外見のME-1とME-500ですが、ユーザーやシチュエーションにより使い方が異なります。

チャンネル数が多くリハーサル時間が十分にあるショー、専属のアーティストが常駐する結婚式場や多目的ホールでは、ME-1を使用することで、エンジニアは各アーティストの好みやニーズを完璧に反映させて各ユニットを構成できます。

フェスティバルなどエンジニアとアーティストのサウンドチェックの時間が限られている場合、または予算が限られている場合やチャンネル数が少ない場合には、ME500がお勧めです。最小限の手間でショーを立ち上げることができます。

ME-U 2U

オープンプライス

パラレル接続用10ポートPoEモニターハブ

- ロッキング機能付きEtherconコネクターを10ポート搭載
- 各ポートからME-1またはME-500に電源と音声を供給。
  ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。
- 2つのハブをリンクしてポートを増設
- ツアリンググレードの高品質
- ラックマウント可能(2U)
- 接続されたME-1は、SQやdLiveのミキサーからチャンネル名を自動的にピックアップ
- ユニット名とIPアドレスをブラウザで設定し、チャンネル名を手動で入力可能
- オプションカードを使用することで、他社のデジタルコンソールとの接続も可能

仕様
- 電源:100V AC、50/60Hz
- 消費電力:250W
- 動作気温範囲:5°C-35°C
- PoE性能:15W(各ソケット)
- 寸法・質量:W482.6×H93×D253mm、4.6kg

●Option Card

M-MADI2-A

オープンプライス

MADIインターフェースカード。48kHz対応。64MADI(BNC)。
※ME-Uで使用する場合、中央のAUX端子と右のMADI LINK2(IN/OUT)端子は使用不可。

M-DANTE

オープンプライス

Danteインターフェースカード。64×64入出力、48kHz対応、RJ45ポート(Control Network、Dante Primary/Secondary)。

MOD-DMI-ME

DiGiCo

DiGiCo社ミキサー専用MEカード

DMIスロット装備のDiGiCoミキサーにMOD-DMI-MEカードを挿入するとMEシステムが使用できます。

●接続例

ALLEN & HEATHの デジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用しない場合

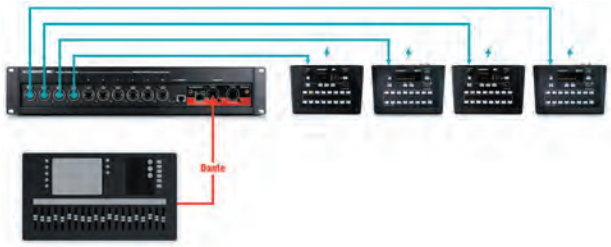
ME-1とME-500は、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink、dSNAKE、Monitorの各ポートに直接接続可能。
複数のME-1およびME-500をデイジーチェーン接続可能です。
※各ユニットに外部電源が必要。

ALLEN & HEATHの デジタル・ミキシング・システムとME-1/ME-500 ME-Uを使用した場合

ME-Uは、ALLEN & HEATHのデジタル・ミキシング・システムのME、SLink、dSNAKE、Monitorの各ポートに直接接続できます。ME-Uに直接接続されたME-1およびME-500には、PoE経由で電源が供給され、ユニットごとに別々の電源を使用する煩わしさを排除。10ポート以上が必要な場合は、複数のME-Uハブをディジーチェーン接続できます。

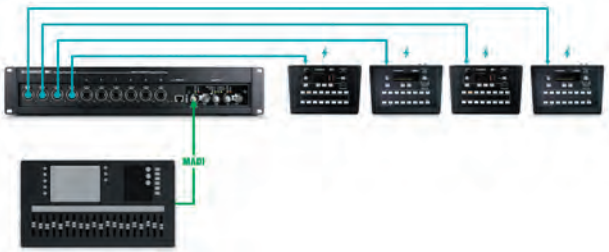
ME-Uに「M-DANTE」カードを使用した場合

Dante接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



ME-Uに「M-MADI2-A」カードを使用した場合

MADI接続に対応した他社製のデジタル・ミキシングシステムと使用可能。



AHM

優れた性能でマルチゾーンの音響を制御するオーディオ·マトリクス·プロセッサー。
カスタマイズ可能なインターフェースで操作も簡単。

AHM-64 2U

オープンプライス

64×64プロセッシング·マトリクス
12×12ローカルアナログI/O

AHM-32 1U

オープンプライス

32×32プロセッシング·マトリクス
12×12ローカルアナログI/O

AHM-16 1U

オープンプライス

16×16プロセッシング·マトリクス
8×8ローカルアナログI/O

IP1-WH-EU
IP1-BK-EU

IP1-WH-US
IP1-BK-US

IP1

オープンプライス

小型かつシンプルなウォールプレート。
技術者でないユーザーにも便利で
簡単なコントロールを提供します。

IP6

オープンプライス

6個のプッシュ·アンド·ターン式
ロータリーエンコーダ

IP8

オープンプライス

8本のモーターライズドフェーダーを搭載。
dLiveやAvantisの追加フェーダーやサーフェスレスの
ミキシングシステムとして、ハンズオンコントロールを可能にします。

AHM-64 / -32 / -16

●マルチゾーンの音声制御を構築

劇場、企業、小売店、商業施設、病院、教育機関など、マルチゾーンの音声制御を必要とする施設で優れた性能を発揮します。多数のI/O拡張ユニットやリモートコントローラー、Danteネットワークに対応するカードなど様々なオプションを組み合わせて、ユーザーが必要とする最適なシステムを構築可能。

●96kHz の高音質、低レイテンシー

次世代のFPGA技術を使用して開発された高品位なプロセッサー。きわめて低いレイテンシーでサンプリングレート96kHz の高音質を提供します。

●システムを簡単に操作

スマートなGUIを持つAHM System Managerは、特別なトレーニングを受けなくてもパワフルなオーディオ・システムの構築が可能。Custum Controlは、会場を使用するユーザーのオーディオスキルやデバイスに合わせたわかりすい画面を提供します。

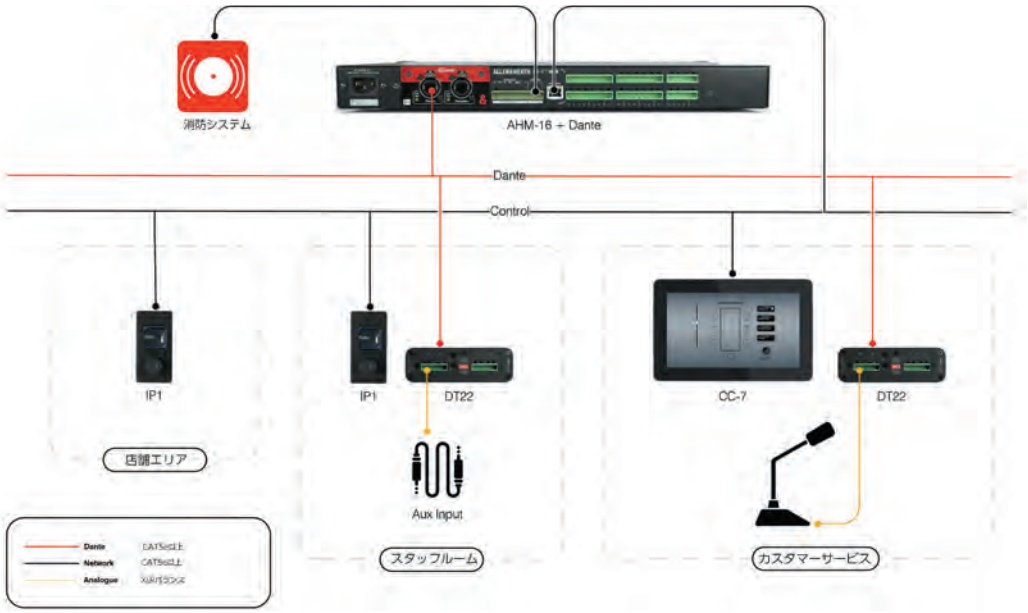
●的確なサウンドマネジメント

日々の業務に適した多くの機能を搭載し、的確なサウンドマネジメントを提供します。

- ■AMM（オートマチック・マイクミキサー）
- ■ANC（アンビエントノイズ補正）機能
- ■ダッキング機能
- ■イベントスケジュール管理
- ■入出力にPEQ、ダイナミクス、ディレイ等、必要なエフェクターを装備。
- ■Dante に対応可能なネットワーク・カードを用意。
- ■ユーザープロファイル機能
- ■管理者を含む操作者のアクセスを制限したり、選択した機能を保護。
- ■2×2のGPIOを標準装備
- ■System Managerソフトウェアは、Mac/Winに対応。
- ■Custom Controlアプリは、各デバイスに対応可能。
- ■ステレオ再生機能を内蔵。
- ■Crestron、AMX、Extronなどサードパーティ製の機器からもコントロール可能。

	AHM-16	AHM-32	AHM-64
入出力チャンネル数	8×8	12×12	12×12
マトリクス	16×16	32×32	64×64
SLink	オプション（SLinkカードをI/Oポートに挿入）		内蔵
I/O ポート	○		
フロントパネル画面	○		—
ソフトキー	4	8	—
GPIO	2×2		
DC 電源	—	—	12V
AMM	1	4	8
接続可能なリモコンの数(IP1、IP6、IP8)	8、2、2	32、8、8	64、16、16
ユーザープロファイル	4	16	32
AEC	—	オプション（M-AHM-32）	オプション（M-AHM-64）
リア用ラックマウントキット	—	—	オプション（AHM-64-RK）

▼小規模店舗での使用例



Option

▶AEC（Acoustic Echo Cancelling）モジュール

遠隔地からの会議やミーティングへの参加がますます一般的になる中、すべての参加者が明瞭に理解できるような高品質のオーディオは非常に重要です。遠隔地の参加者は、自分の声が会議室のスピーカーで再生され、複数のマイクで拾われて発信者に返されることによって、気が散るようなエコーを経験することが多く、会議の流れに深刻な支障をきたすことがあります。

ALLEN & HEATHのAEC（エコーキャンセラー）は、遠隔地の参加者の音声に含まれる「エコー」と、室内音響に起因する残留ノイズを効果的に検出し、専用のハードウェア処理によって不要な音声を最小化。その結果、会議の参加者全員にとって、よりクリアで快適なリスニング環境を提供します。

M-AHM-64 オープンプライス

AHM-64用AECモジュール

M-AHM-32 オープンプライス

AHM-32用AECモジュール

仕様

- ▪12チャンネルAEC
- ▪150ms FIRフィルター
- ▪残留エコーNLP（ノンリニア処理）
- ▪入力チャンネルにインサート
  ファーエンド：AGC（自動ゲイン制御）
  ニアエンド：ゲート
- ▪バックグラウンドノイズ低減
- ▪スピーチ型コンフォートノイズ

Connecting to AHM Series

EVERYTHING I/O

AHM-64

AHM-32

AHM-16

例）AHM-64のSLinkポートを使用した接続

Networking Card

M-SQ-DANT64（Dante64×64カード）

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。SQ Seriesのファームウエア Ver1.5以上で使用可。

M-SQ-DANT32（Dante32×32カード）

NEW

オープンプライス

Danteネットワーク用。96kHz/48kHz、32×32チャンネル。SQ Seriesのファームウエア Ver1.5以上で使用可。

M-SQ-SLINK（SLinkカード）

オープンプライス

SQ SeriesコンソールにSLinkポートを追加。内蔵のSLinkポートと同じ機能。

M-SQ-WAVES3（WAVESカード）

オープンプライス

Waves SoundGridネットワーク用。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。

M-SQ-MADI（MADIカード）

オープンプライス

MADIインターフェース。96kHz/48kHz、64×64チャンネル。2つのBNC入出力がペアになっているため、スプリットまたはリダンダントのセットアップが可能。IN/OUTの2つの機能を持つBNCワードクロック接続により、SQ Seriesコンソールと他の機器との同期が可能。

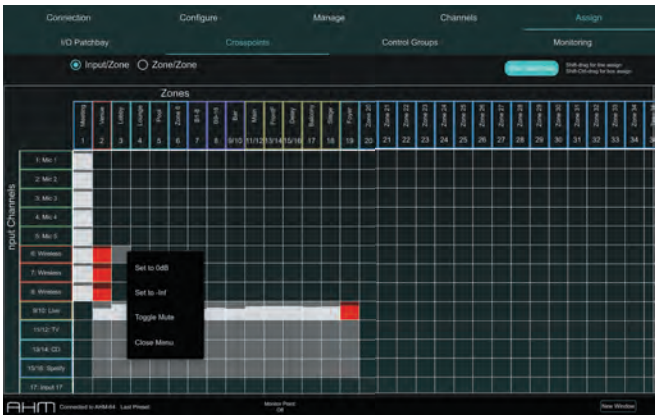
Software AHM

System Manager

システム構築ソフトウェア

直感的な操作で、迅速なシステム構成が可能。
I/Oルーティングや各エリアのページング、音声配信、スピーカープロセッシングの設定や調整を行います。
※Mac/Windows OS に対応。

▲ Channels view

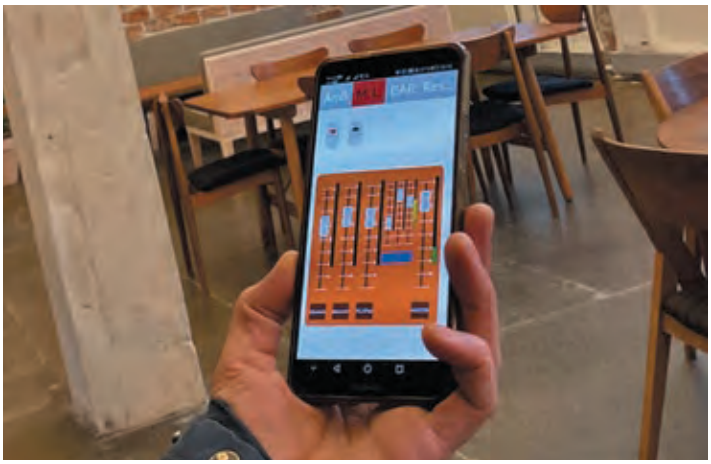


▲ Assign view

Custom Control

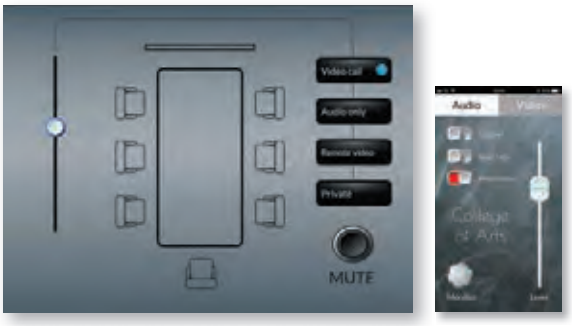
AHM、dLive、Avantis対応　音響システムコントロールアプリ

教育施設、多目的ホール、商業施設など、設備会場の複雑なオーディオを管理・コントロール。
会場を使用するユーザーのレベルやデバイスに合わせてアプリを設計し、複数のインターフェースを提供できます。
※iOS / Android / Windows / Macに対応。



マルチユーザーインターフェース

例えば、バーテンダーにはシンプルな携帯電話のインターフェースを提供し、AVオペレーターはタブレットでレベルとルーティングにアクセスし、ラップトップではより包括的なコントロールを行うことができます。
Custom Controlアプリを実行しているデバイスは、指定されたユーザー・プロファイルでシステムにログインすることができ、ユーザーをパスワードで保護して、セキュリティを強化することもできます。



フルカスタマイズ

すべてのレベル、ミュート、センドへのアクセスに加え、プリセットの呼び出し、ソースの選択、メーターの表示が可能です。タブを設定することで、複数のコントロールページやゾーンに簡単にアクセスできます。コントロールデザインのライブラリが用意されており、会場に合わせてカスタムグラフィックを追加することも可能です。

CC-7 & CC-10
Custom Control用タッチパネル

オープンプライス

CC-7とCC-10は、デスクトップまたはウォールマウント用のコントロール・タッチパネルです。Custom Controlアプリが搭載されており、シンプルな音楽ソースの選択から、レベルコントロール、プリセットの呼び出し、ページングまで、タッチスクリーンで操作できます。IPリモート・コントローラー(→p.36)の代わりとなる製品です。

Option　CC-STN:デスクスタンド
　　CC-BRK:ウォールマウントブラケット

Remote Control

**IP Seriesのリモートコントローラーは、標準的なTCP/IPネットワークを介してdLive/Avantisミキシングシステムと接続。
他のコントローラーやコンピューター、サードパーティのデバイスにもイーサネットを使用してネットワークを簡単に構築できます。
コントロールと機能は、サーフェスまたはPC/Mac用のDirectorソフトウェアを使ってプログラムします。**

IP1-WH-EU
IP1-BK-EU

IP1-WH-US
IP1-BK-US

IP1

オープンプライス

**小型かつシンプルなウォールプレート。
技術者でないユーザーにも便利で
簡単なコントロールを提供します。**

- 音楽ソースの選択、レベルコントロール、またはプリセットの呼び出し
- プッシュ＆ターン式ロータリーとLCDディスプレイを搭載
- TCP/IP、PoE対応
- US（Decora）とEUの2つのバリエーション、ブラックとホワイト

※フェイスプレートは付属しません

仕様
- ネットワーク：Fast Ethernet 100MBps
- PoE（802.3af：15.4W）またはPoE+（802.3at：30.0W）
- 消費電力：2.5W
- 寸法（W×H×D）・質量：
  IP1-EU 50×50×32mm、70g
  IP1-US 45×106×25mm、100g

IP6

オープンプライス

**6個のプッシュ・アンド・ターン式
ロータリーエンコーダ**

- ワイヤレスのIEMやパーソナル・モニタリングシステムとしても使用可能
- 6レイヤー
- PoEまたは外部12V電源

Option AB8999：マイクスタンド取付ブラケット
AA8705：ヘッドホンハンガー
IP6-ME-MOUNT：ウォールマウントブラケット

仕様
- ネットワーク：Fast Ethernet 100MBps
- PoE（802.3af：15.4W）またはPoE+（802.3at：30.0W）
  接続したIP6 1ユニットにつき10Wを供給
- 外部DC電源：+12V、360mA
- 消費電力：5W
- 寸法（W×H×D）・質量：227×55×150mm、1.5kg

IP8

オープンプライス

**8本のモーターライズドフェーダーを搭載。
dLiveやAvantisの追加フェーダーやサーフェスレスの
ミキシングシステムとして、ハンズオンコントロールを可能にします。**

- 8モーターライズドフェーダー
- 6レイヤー
- PoE+または外部12V PSU
- 台座や家具に取り付けて使用することもできます。

Option IP8-MOUNT：マウントキット

仕様
- ネットワーク：Fast Ethernet 100MBps
- PoE+給電：30.0W（802.3at）※PoE+給電のみに対応
  接続したIP8 1ユニットにつき25Wを供給
- 外部DC電源：+12V、2.1A
- 消費電力：25W
- 寸法（W×H×D）・質量：291×61×205mm、2.5kg

GR4

コンパクトな1Uサイズに豊富な入出力と多彩な機能を凝縮
店舗や施設のBGM、ページングシステムに適したアナログ・ゾーンミキサー

GR4 1U オープンプライス

アナログ・ゾーンミキサー

- **バー、レストラン、店舗、レジャー施設など小規模商業施設のBGMやページングをシンプルにコントロール。**
- **4つのゾーンへの出力が可能。**
- **ページング機能や録音されたアナウンスを優先的に入力するモードなど通常業務に便利な機能を搭載。**
- **オプションでウォールプレートやリモコンを用意。**
- **付属の金具でラックマウント可能。**

最大4つのゾーンのミキシング
Z1とZ2への入力を個別にミックスし、選択してコントロール可能。Z3とZ4へのミックス出力は、内部ジャンパーにより複数のオプションを設定可能。

ダイナミクス
すべてのマイク入力にゲインと2バンドEQを、さらにZ1とZ2出力にも2バンドEQを搭載。

プライマリーマイクモード
MIC1の入力やページングを感知すると、音楽はあらかじめ設定されたレベルまでフェードされ、アナウンスの間はMIC2-4がミュートされる機能。
※ゲイン/ボリュームの設定が簡単に変更できないように、ロータリーコントロールを取り外して付属のキャップを取り付けられます。

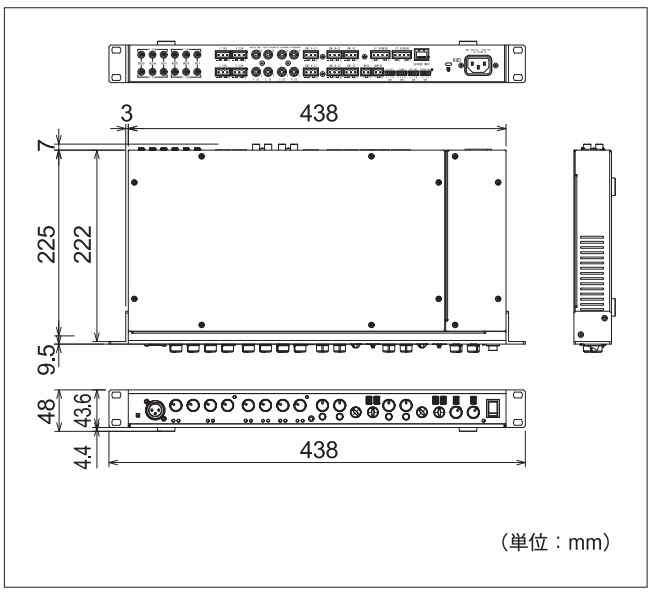
選択可能なモード
プライマリ/セカンダリマイクモード
単純なページングアナウンスなど、階層化されたマイクフィードの制御に最適。

エマージェンシーマイクモード
緊急時にサードパーティのシステムと併用するためのモード。アラーム接点が閉じると、MIC1以外のすべての入力をミュートします。

ジュークボックスモード
録音されたアナウンスやスポーツチャンネルなどの番組素材をシステムに優先的に入力。

高度な機能
プログラミングモードに入ると、以下のパラメーターを調整することが可能。
- ダッカーの減衰量
- ダッカーのホールドタイム
- ダッカーのリリースタイム
- ミュージック・クロスフェード・タイム
- ジュークボックスのホールドタイム
- ジュークボックスのリリースタイム

●寸法図



Option

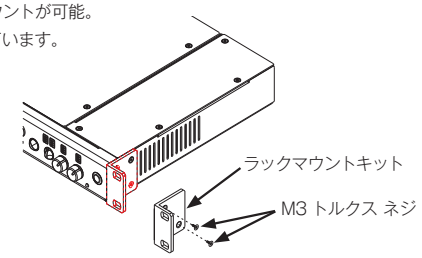
PL-14

オープンプライス

リモートコントロール用ウォールプレート

- ロータリー式ボリュームコントロール、4つのソースセレクトスイッチ
- CAT5eまたはそれ以上のケーブルで接続
- RJ45リンクスルーコネクターによってコントローラーの追加が可能（最大2台まで）

付属の金具でラックマウントが可能。
トルクスネジも付属しています。



dLIVE

dLive S Class

			dLive S7000	dLive S5000	dLive S3000	dLive DM64	dLive DM48	dLive DM32	dLive DM0
入出力性能	フェーダー数		36	28	20	–			
	ディスプレイ数		2	2	1	–			
	入力チャンネル		–	–	–	128			
	バス		–	–	–	64（グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数）			
	内蔵エフェクター		–	–	–	16			
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	8 （バランスXLR、+48Vファンタム電源）			64 （バランスXLR、+48Vファンタム電源）	48	32	–
		入力感度	−60 ～ +15dBu			−60 ～ +15dBu			–
		アナログゲイン	+5 ～ +60dB、1dBステップ			+5 ～ +60dB、1dBステップ			–
		パッド	−20dB アクティブパッド			−20dB アクティブパッド			–
		最大入力レベル	+30dBu（PAD in）			+30dBu（PAD in）			–
		入力インピーダンス	>4kΩ（Pad out）、>10kΩ（Pad in）			>4kΩ（Pad out）、>10kΩ（Pad in）			–
		マイク等価入力ノイズ	−127dB（150Ω ソース）			−127dB（150Ω ソース）			–
	デジタル入力	AES3	2（バランスXLR、110Ω）			–			–
		サンプリングレート	32k～192kHz（バイパスオプション付き）			–			–
	アナログ出力	ライン出力	8 （バランスXLR）			32 （バランスXLR）	24 （バランスXLR）	16 （バランスXLR）	–
		出力インピーダンス	<75Ω			<75Ω			–
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値			+4dBu=0dBの測定値			–
		最大出力レベル	+22dBu			+22dBu			–
		残留出力ノイズ	−92dBu（ミュート20～20kHz） −90dBu（ミュート20～40kHz）			−92dBu（ミュート20～20kHz） −90dBu（ミュート20～40kHz）			–
	デジタル出力	AES3	3（バランスXLR、110Ω）			–			–
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能			–			–
接続端子	gigaACE		2			2			
	DX Link		2			4			
	オプションカードスロット		2			3			
	ME接続専用 48kHzポート		–			1			
	ネットワークポート		2×RJ45			2×RJ45			
	ワードクロックI/O		2×BNC			2×BNC			
	USB-A		3			–			
	外部ディスプレイ		1×VGA			–			
	ヘッドホン出力		1/4"フォーン×1、 1/8"フォーン×2		1/4"フォーン×1、 1/8"フォーン×1	1			
システム XLR入力～ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	ダイナミックレンジ		110dB			110dB			–
	S/N		−92dB			−92dB			–
	周波数レスポンス		20Hz～30kHz +0/−0.8dB			20Hz～30kHz +0/−0.8dB			–
	THD+N（アナログ入力から出力）		0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン			0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dBゲイン			–
	ヘッドルーム		+18dB			+18dB			–
	内部動作レベル		0dBu			0dBu			–
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS （+22dBu @XLR出力）			+18dBu=0dBFS （+22dBu @XLR出力）			+18dBu= 0dBFS
	メーターキャリブレーション		0dB メーター=−18dBFS （+4dBu@XLR出力）			0dB メーター=−18dBFS （+4dBu @XLR出力）			0dB meter= −18dBFS
	メーターピークインジケーション		−3dBFS （+19dBu @XL出力）			−3dBFS （+19dBu @XL出力）			−3dBFS
	サンプリングレート		96kHz +/− 20PPM			96kHz +/− 20PPM			
	AD/DA コンバーター		24bit			24bit			
	レイテンシー		0.7 ms （MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス）			0.7 ms （MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス）			–
			+5サンプル、サーフェス～MixRack（gigaACE） +8サンプル、DX32～MixRack（DX Link）			+5サンプル、サーフェス～MixRack（gigaACE） +8サンプル、DX32～MixRack（DX Link）			
電源			100V AC、50/60Hz PSUスロット×2（リダンダント電源対応） ※出荷時は1台のみ			100V AC、50/60Hz PSUスロット×2（リダンダント電源対応） ※出荷時は1台のみ			100V AC、 50/60Hz リダンダント電源 内蔵
消費電力			最大300W（MPS16 V1 300W）* 最大250W（MPS16 V2 250W）* ※電源ユニットに消費電力を記載			最大300W（MPS16 V1 300W）* 最大250W（MPS16 V2 250W）* ※電源ユニットに消費電力を記載			最大90W （各電源）
寸法（W×H×D）			1325×413× 728mm	1115×413× 728mm	870×413× 728mm	482.6×458× 313mm、10U	482.6×369× 313mm、8U	482.6×325× 313mm、7U	482.6×176× 355mm、4U
質量			約41kg	約35kg	約28kg	約21kg	約17.5kg	約15kg	約12kg

dLive C Class

			dLive C3500	dLive C2500	dLive C1500	dLive CTi1500	dLive CDM64	dLive CDM48	dLive CDM32
入出力性能	フェーダー数		24	20	12	12	–		
	ディスプレイ数		2	1	1	1	–		
	入力チャンネル		–				128		
	バス		–				64（グループ、FX、AUX、マトリクス、メインの総数）		
	内蔵エフェクター		–				16		
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	6				64	48	32
			（バランスXLR、+48Vファンタム電源）				（バランスXLR、+48Vファンタム電源）		
		入力感度	−60 ～ +15dBu				−60 ～ +15dBu		
		アナログゲイン	+5 ～ +60dB、1dBステップ				+5 ～ +60dB、1dBステップ		
		パッド	−20dB アクティブパッド				−20dB アクティブパッド		
		最大入力レベル	+30dBu（PAD in）				+30dBu（PAD in）		
		入力インピーダンス	>4kΩ（Pad out）、 >10kΩ（Pad in）				>4kΩ（Pad out）、 >10kΩ（Pad in）		
		マイク等価入力ノイズ	−127dB（150Ω ソース）				−127dB（150Ω ソース）		
	デジタル入力	AES3	1（バランスXLR、110Ω）				–		
		サンプリングレート	32k～192kHz（バイパスオプション付き）				–		
	アナログ出力	ライン出力	6 （バランスXLR）				32 （バランスXLR）	24 （バランスXLR）	16 （バランスXLR）
		出力インピーダンス	<75Ω				<75Ω		
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値				+4dBu=0dBの測定値		
		最大出力レベル	+22dBu				+22dBu		
		残留出力ノイズ	−92dBu（ミュート20～20kHz） −90dBu（ミュート20～40kHz）				−92dBu（ミュート20～20kHz） −90dBu（ミュート20～40kHz）		
	デジタル出力	AES3	1（バランスXLR、110Ω）				–		
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能				–		
接続端子	gigaACE		1				1		
	DX Link		1				2		
	オプションカードスロット		1				1		
	ME接続専用 48kHzポート		–				1		
	ネットワークポート		2×RJ45				2×RJ45		
	ワードクロックI/O		1×BNC				1×BNC		
	USB-A		2×USB−A				–		
	外部ディスプレイ		1×VGA				–		
	ヘッドホン出力		1/4"フォーン×1、1/8"フォーン×1				1		
システム XLR入力～ XLR出力、 20-20kHz、 ミニマムゲイン、 パッドなし	ダイナミックレンジ		110dB				110dB		
	S/N		−92dB				−92dB		
	周波数レスポンス		20Hz～30kHz +0/−0.8dB				20Hz～30kHz +0/−0.8dB		
	THD+N（アナログ入力から出力）		0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dBゲイン				0.0015% @+16dBu出力、 1kHz 0dBゲイン		
	ヘッドルーム		+18dB				+18dB		
	内部動作レベル		0dBu				0dBu		
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS （+22dBu @XLR出力）				+18dBu=0dBFS （+22dBu @XLR出力）		
	メーターキャリブレーション		0dB メーター=−18dBFS （+4dBu@XLR出力）				0dB メーター=−18dBFS （+4dBu@XLR出力）		
	メーターピークインジケーション		−3dBFS （+19dBu @XL出力）				−3dBFS （+19dBu @XL出力）		
	サンプリングレート		96kHz +/− 20 PPM				96kHz +/− 20 PPM		
	AD/DA コンバーター		24bit				24bit		
	レイテンシー		0.7 ms（MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス） +5サンプル、サーフェス～MixRack（gigaACE） +8サンプル、DX32～MixRack（DX Link）				0.7 ms（MixRack XLR入力～ XLR出力、入力～ミックス） +5サンプル、サーフェス～MixRack（gigaACE） +8サンプル、DX32～MixRack（DX Link）		
電源			100V AC、50/60Hz シングル電源				100V AC、50/60Hz シングル電源		
消費電力			最大110W				最大175W		
寸法（W×H×D）			885×325× 665mm	775×325× 665mm	485×325× 665mm	440×337× 644mm	481.6×354.5× 309mm、8U	481.6×310× 309mm、7U、	481.6×221× 309mm、5U
質量			約28kg	約24.5kg	約18kg	約11.5kg	約13.5kg	約12kg	約10kg

avantis

Avantis

			Avantis
入出力性能	フェーダー数		24
	ディスプレイ数		2
	入力チャンネル		64
	バス		42
	内蔵エフェクター		12
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	12 (バランスXLR、+48V ファンタム電源)
		入力感度	−60 ～ +15dBu
		アナログゲイン	+5 ～ +60dB、1dBステップ
		パッド	−20dB アクティブパッド
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)
		マイク等価入力ノイズ	−127dB (150Ω ソース)
	デジタル入力	AES3	1 (バランスXLR、110Ω)
		サンプリングレート	32k～192kHz (バイパスオプション付き)
	アナログ出力	ライン出力	12 (バランスXLR)
		出力インピーダンス	<75Ω
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値
		最大出力レベル	+22dBu
		残留出力ノイズ	−95dBu (ミュート20～22kHz) −90dBu (ミュート0～80kHz)
	デジタル出力	AES3	2 (バランスXLR、110Ω)
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能
接続端子	SLink		1
	オプションカードスロット		2
	ネットワークポート		2×RJ45
	ワードクロックI/O		1×BNC
	USB		USB2.0×1(背面:Type-A)、USB3.0×1(前面:Type-A)
	ヘッドホン出力		1/4"フォーン×1、3.5mmステレオミニ×1
システム XLR入力～XLR出力 20-40kHz ミニマムゲイン パッドなし	ダイナミックレンジ		109dB
	S/N		−92dB
	周波数レスポンス		20Hz～30kHz +0/−0.8dB
	THD+N (アナログ入力から出力)		0.0015% @+16dBu出力、1kHz 0dB ゲイン
	ヘッドルーム		+18dB
	内部動作レベル		0dBu
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS (+22dBu @XLR出力)
	メーターキャリブレーション		0dBメーター=−18dBFS (+4dBu@XLR出力)
	メーターピークインジケーション		−3dBFS (+19dBu @XLR出力)
	サンプリングレート		96kHz
電源			100V AC、50/60Hz
消費電力			最大150W
寸法(W×H×D)			917×269×627mm
質量			約26kg

SQ

SQ

			SQ-7	SQ-6	SQ-5
入出力性能	フェーダー数		32+1	24+1	16+1
	ディスプレイ数		1		
	入力チャンネル		48(HPF、PEQ、Gate、Comp、Delayを有するプロセッシング)		
	バス(処理能力)		32(12stereo/mono ミックス・バス、3stereoマトリクス、LR出力の合計)		
	内蔵エフェクター		8 専用ステレオリターン装備(Deepプラグイン・ソフト/オプションに対応)		
ローカルI/O	アナログ入力	マイク/ライン入力	32	24	16
		入力感度	−60～+0dBu		
		アナログゲイン	0dB ～ +60dB、1dBステップ		
		パッド	−20dB 切替パッド		
		最大入力レベル	+30dBu		
		入力インピーダンス	>5kΩ		
		THD+N (ユニティゲイン0dB)	0.002% −92dBu (20Hz～20kHz、AES ダイレクトアウト、@0dBu 1kHz)		
		THD+N (Midゲイン+30dB)	0.003% −91dBu (20Hz～20kHz、AES ダイレクトアウト、@−30dBu 入力 1kHz)		
		ライン入力	3		
		ST1、ST2	バランス1/4" TRS		
		ST3	アンバランス3.5mmミニSTフォーンジャック		
		入力感度	ST1、ST2 :+4dBu、ST3:0dBu		
		トリム	+/−24dB		
		最大入力レベル	ST1、ST2 :+22dBu、ST3:+18dBu		
		入力インピーダンス	>7kΩ		
	アナログ出力	ライン出力	16+2 (XLR×16、バランスTRS×2)	14+2 (XLR×14、バランスTRS×2)	12+2 (XLR×12、バランスTRS×2)
		出力インピーダンス	<75Ω		
		定格出力	+4dBu=0dB の測定値		
		最大出力レベル	+22dBu		
		残留出力ノイズ	−90dBu(ミュート20Hz～20kHz)		
	デジタル出力	AES3	1(バランスXLR、110Ω)		
		サンプリングレート	96kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能		
接続端子	SLink		1×RJ45		
	オプションカードスロット		1		
	ネットワークポート		1×RJ45		
	USB		USB2.0×2(背面:Type-B、前面:Type-A)		
	ヘッドホン出力		1/4"フォーン×1		
システム XLR入力～XLR出力、0dBゲイン、0dBu入力	ダイナミックレンジ		112dB		
	周波数レスポンス		+0/−0.5dB 20Hz～20kHz		
	THD+N (Mic/LineからメインL/R出力)		ユニティゲイン・フェーダー@0dB、0.006%、−84dBu(20～20kHz)		
	ヘッドルーム		+18dB		
	内部動作レベル		0dBu		
	dBFS アライメント		+18dBu=0dBFS(+22dBu @XLR出力)		
	メーターキャリブレーション		0dB meter=−18dBFS(+4dBu @XLR出力)		
	ピークインジケーション		−3dBFS (+19dBu @XLR out)、マルチポイントセンシング		
	サンプリングレート		96kHz		
	レイテンシー		<0.7mS、ローカルマイク入力～メインL/R		
電源			100V AC、50/60Hz		
消費電力			110W	90W	75W
寸法(W×H×D)			804×198×514.9mm	638×198×514.9mm	440×198×514.9mm
質量			約17.8kg	約14.5kg	約10.5kg

EVERYTHING I/O

I/O Expander

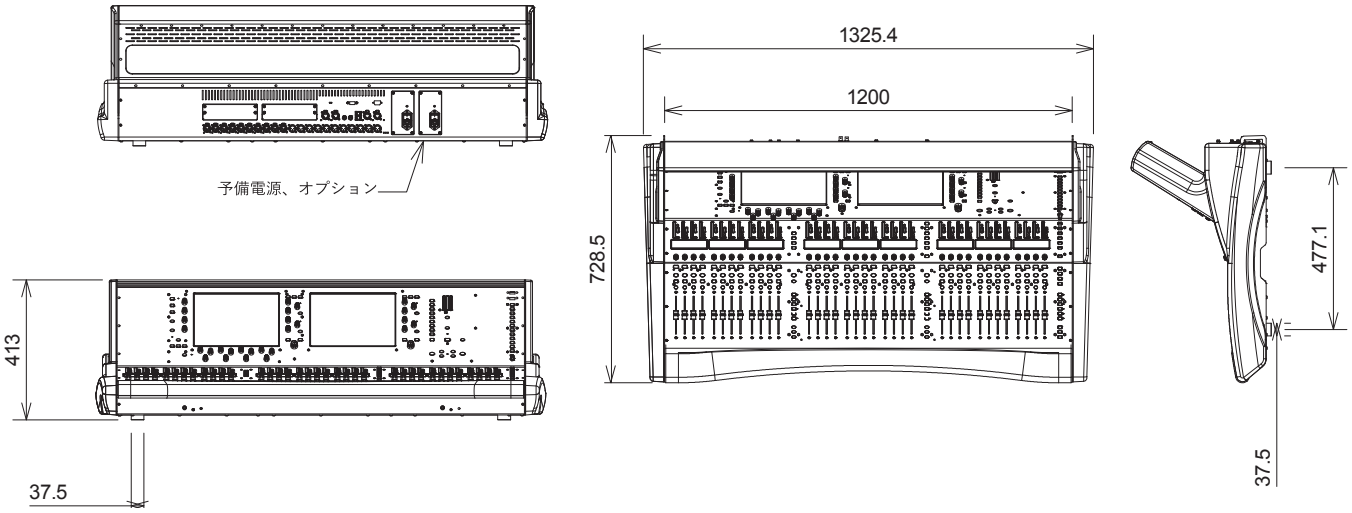
			GX4816	DX32	DX012	DX168	DX164-W	DX88-P	AR2412	AB168	AR84	DT168	DT164-W
入力	アナログ入力	マイク/ライン入力	48（バランスXLR、+48Vファンタム電源）	★最大32（バランスXLR、+48Vファンタム電源）	–	16（バランスXLR、+48Vファンタム電源）		8（バランスユーロブロック、+48Vファンタム電源）	24（バランスXLR）	16（バランスXLR）	8（バランスXLR）	16（バランスXLR、+48Vファンタム電源）	
		入力感度	−60~+15dBu		–	−60~+15dBu			−60~+15dBu			−60~+15dBu	
		アナログゲイン	+5~+60dB、1dBステップ		–	+5~+60dB、1dBステップ			+5~+60dB、1dBステップ			+5~+60dB、1dBステップ	
		パッド	−20dBアクティブパッド		–	−20dBアクティブパッド			−20dB			−20dBアクティブパッド	
		最大入力レベル	+30dBu (PAD in)		–	+30dBu (PAD in)			+30dBu	+32dBu		+30dBu (PAD in)	
		入力インピーダンス	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)		–	>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)			>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)			>4kΩ (Pad out)、>10kΩ (Pad in)	
		マイク等価入力ノイズ	−127dB (150Ω ソース)		–	−127dB (150Ω ソース)			−127dB (150Ω ソース)			−127dB (150Ω ソース)	
	デジタル入力	AES3	–	★最大32（バランスXLR、110Ω）	–	–	–	–	–	–	–	–	
		サンプリングレート	–	32k~192kHz（バイパスオプション付き）	–	–	–	–	–	–	–	–	
出力	アナログ出力	ライン出力	16（バランスXLR）	★最大32（バランスXLR）	最大12（バランスXLR）	8（バランスXLR）	4（バランスXLR）	8（バランスユーロブロック）	12（バランスXLR）	8（バランスXLR）	4（バランスXLR）	8（バランスXLR）	4（バランスXLR）
		出力インピーダンス	<75Ω		<60Ω	<75Ω			<75Ω			<75Ω	
		定格出力	+4dBu=0dBの測定値		+4dBu=0dBの測定値	+4dBu=0dBの測定値			+4dBu=0dBの測定値			+4dBu=0dBの測定値	
		最大出力レベル	+21dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+21dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	+22dBu	
		残留出力ノイズ	−95dBu（ミュート、20Hz~22kHz）	−92dBu（ミュート、20Hz~20kHz）	−95dBu（22Hz~22kHz）	−92dBu（ミュート、20Hz~20kHz）			−91dBu（ミュート、20Hz~20kHz）	−91dBu（ミュート、20Hz~20kHz）		−92dBu（ミュート、20Hz~20kHz）	
	デジタル出力	AES3	–	★最大32（バランスXLR、110Ω）	最大8（バランスXLR、110Ω）	–		–	–	–		–	
		サンプリングレート	–	96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能	96kHz、88.2kHz、48kHz、44.1kHz 切り替え可能	–		–	–	–		–	
接続端子	GX Link		1	–	–	–		–	–	–		–	
	DX Link		2	2	2	2		2	–	–		–	
	ME/dSNAKE		–	–	–	–		–	3	2		–	
	Dante		–	–	–	–		–	–	–		2	
	オプションカードスロット		–	4	–	–		–	–	–		–	
電源			100V AC、50/60Hz	100V AC、50/60Hz PSUスロット×2（リダンダント電源対応）※出荷時は1台のみ	100V AC、50/60Hz	100V AC、50/60Hz		12V DC（外部電源）、最大3.3A	100V AC、50/60Hz			100V AC、50/60Hz	
消費電力			最大90W	最大300W（MPS16 V1 300W）* 最大250W（MPS16 V2 250W）* ※AC電源アダプターに消費電力を記載	最大35W	最大35W	最大35W	最大39.6W	最大70W	最大40W	最大20W	最大40W	最大35W
寸法（W×H×D）			481.6×221.5×255mm、5U（脚含むH: 229.5mm）	433×177×290mm、4U	482.6×48.2×214.7mm、1U	416.55×182.1×189mm	210×210×87mm	216.5×42.8×195.4 mm	482.6×132.5×219.4mm、3U（脚含むH: 136.7mm）	416.55×182.1×189mm	482.6×44×217.8mm、1U（脚含むH: 48.2mm）	416.55×182.1×189mm	210×210×87mm
質量			約8kg	約10.5kg	約2.95kg	約4.6kg	約3.2kg	約1.51kg	約5kg	約4.8kg	約3kg	約4.6kg	約3.2kg

★モジュールの選択により構成が異なります。最大4モジュール（1モジュールあたり8ch）でアナログ入力、アナログ出力、AES3各種入出力の合計が32ch（8ch単位）となります。（→p.24）

dLive S Class

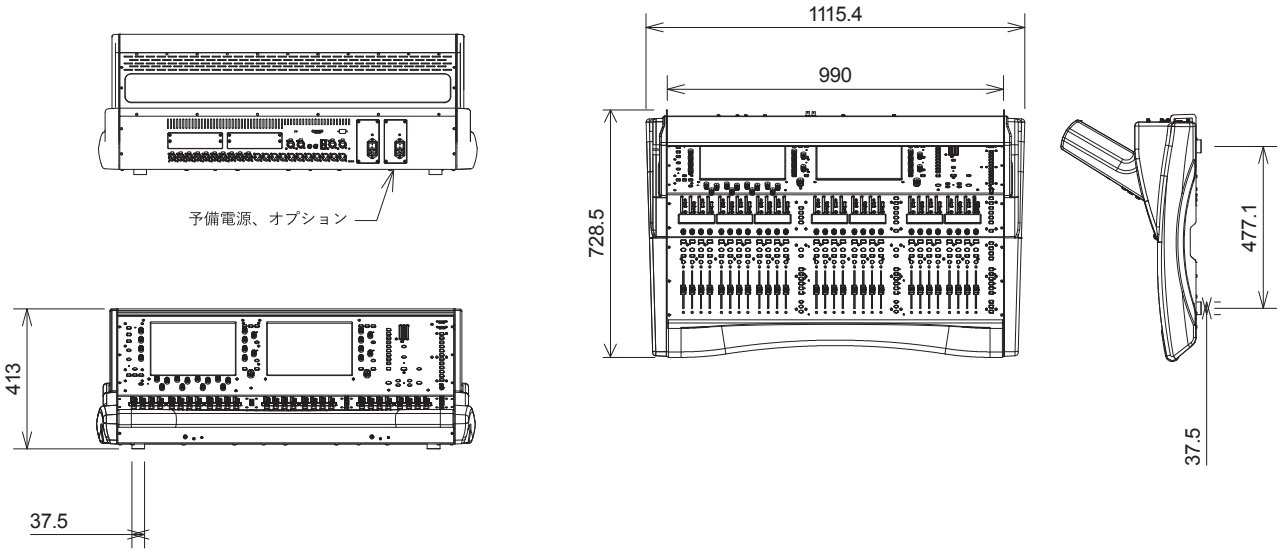
S7000 W1325.4×H413×D728.5mm、41kg

（単位：mm）



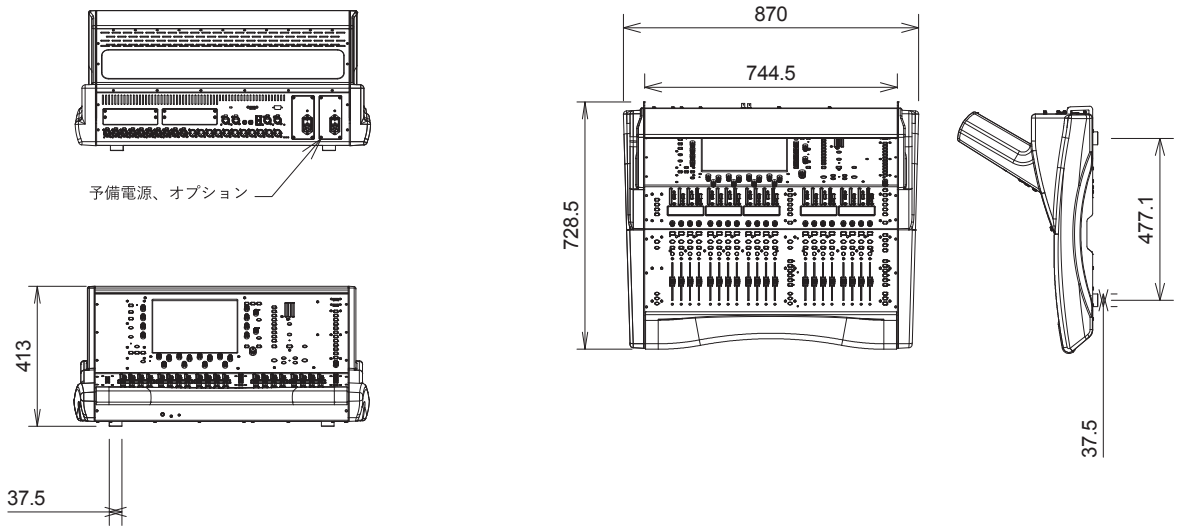
S5000 W1115.4×H413×D728.5mm、35kg

（単位：mm）



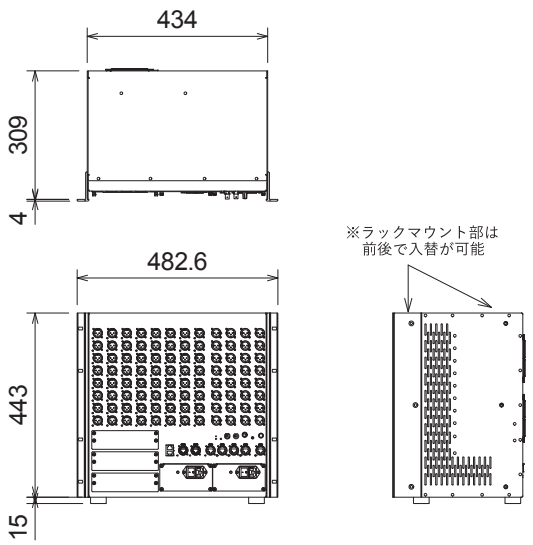
S3000 W870×H413×D728.5mm、28kg

（単位：mm）



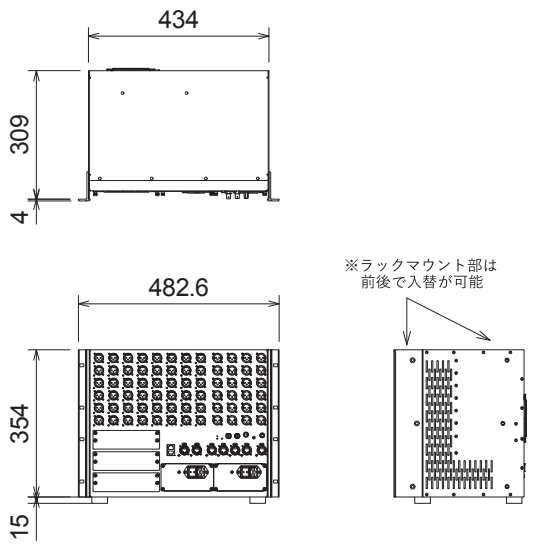
DM64 W482.6×H458×D313mm、21kg 10U

（単位：mm）



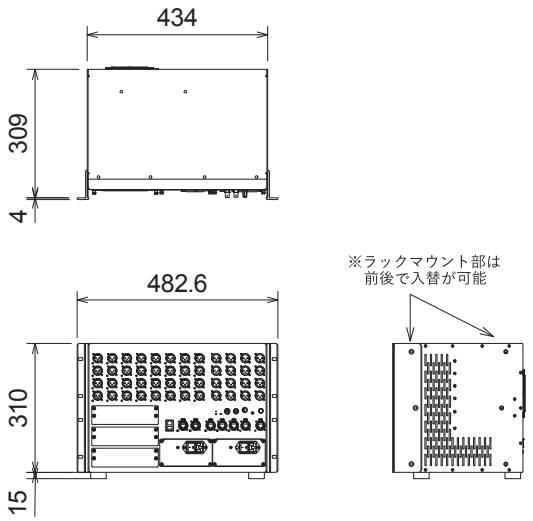
DM48 W482.6×H369×D313mm、17.5kg 8U

（単位：mm）



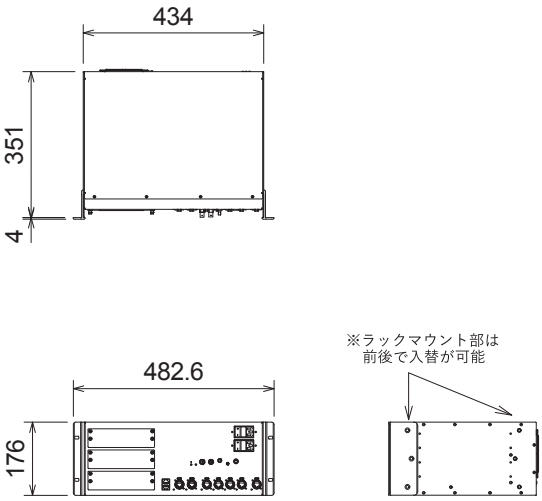
DM32 W482.6×H325×D313mm、15kg 7U

（単位：mm）



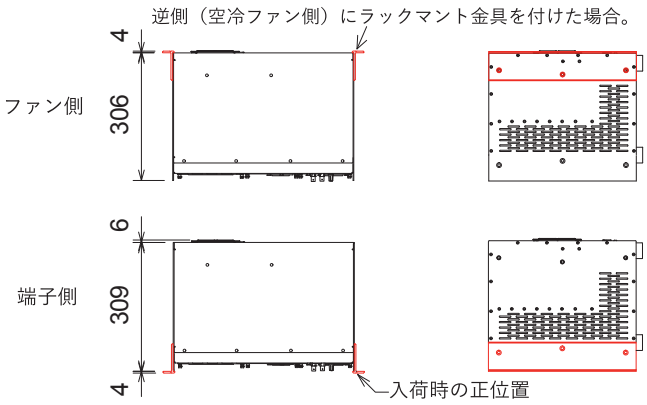
DM0 W482.6×H176×D355mm、12kg 4U

（単位：mm）

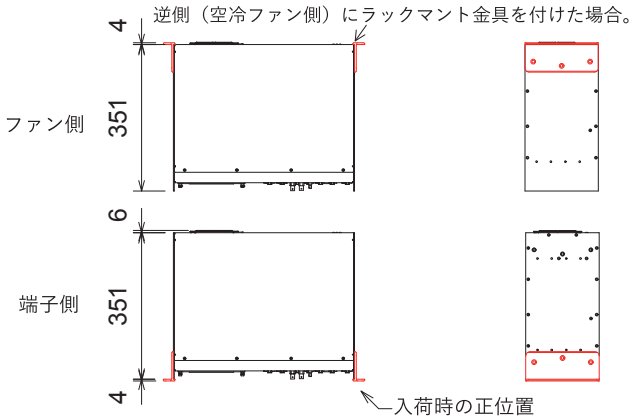


（単位：mm）

dLive-DM32,48,64の例



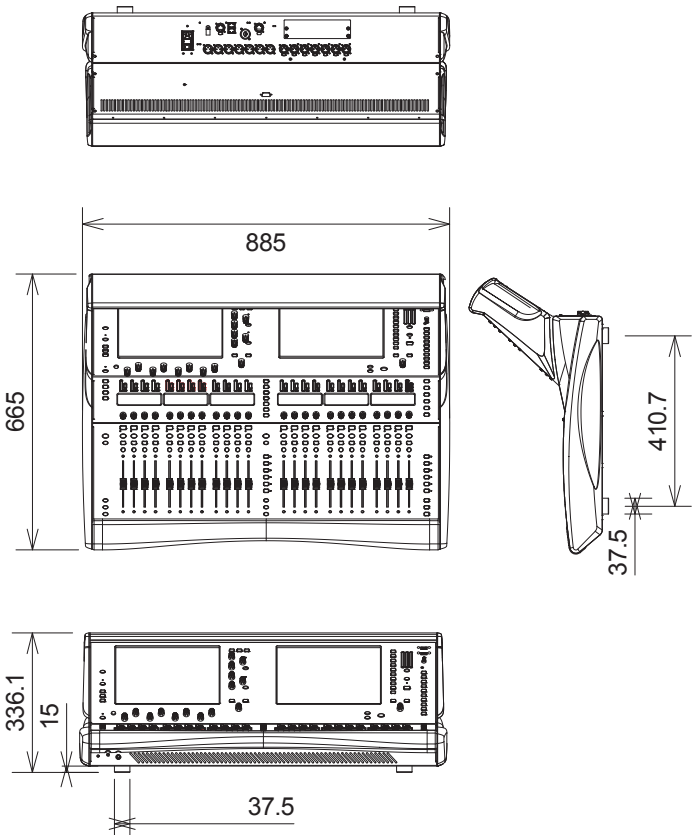
dLive-DM0の例



dLive C Class

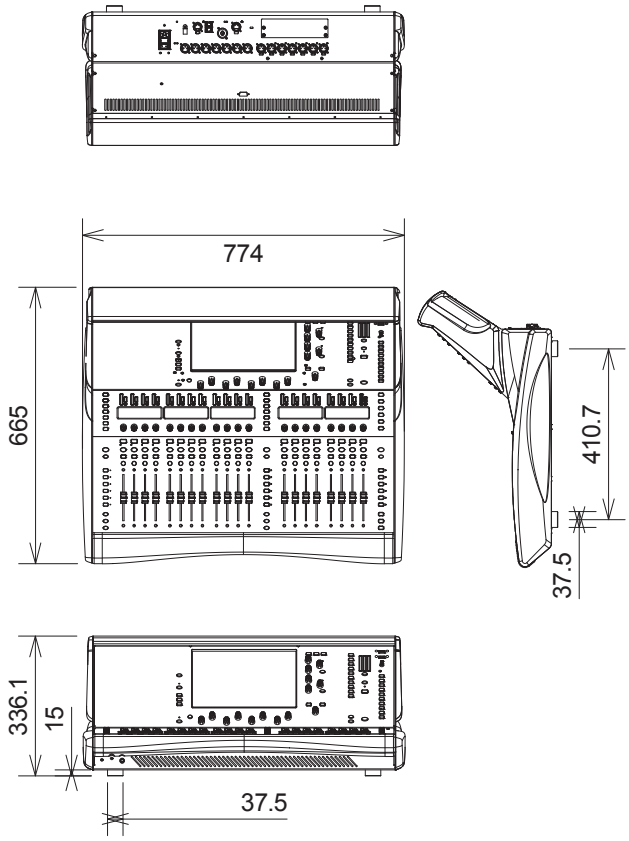
C3500 W885×H325×D665mm、28kg

（単位：mm）



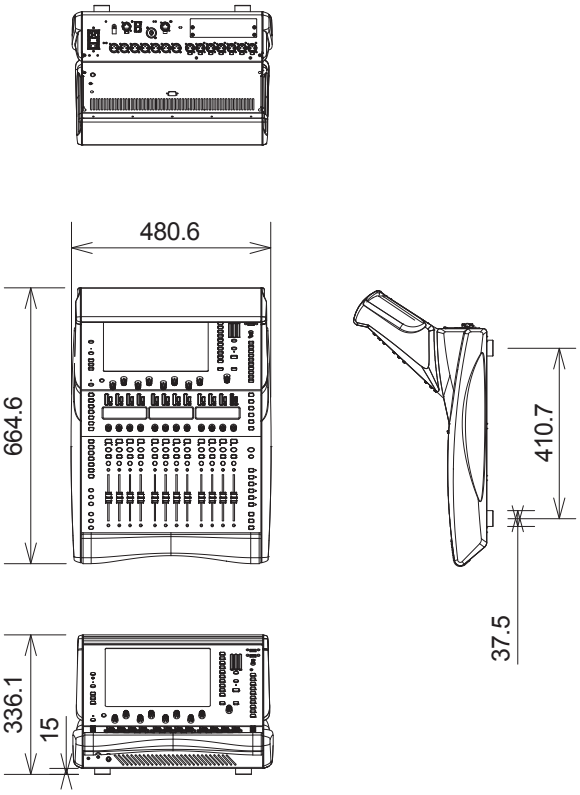
C2500 W775×H325×D665mm、24.5kg

（単位：mm）



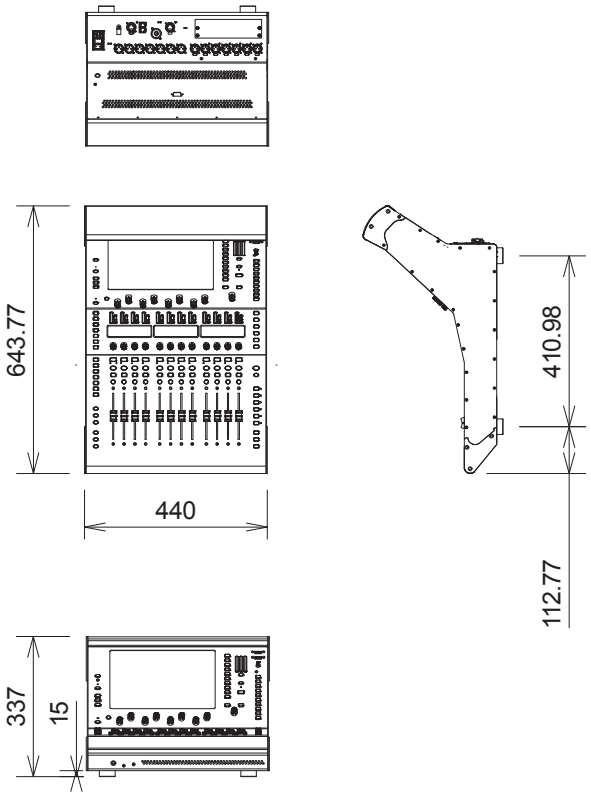
C1500 W485×H325×D665mm、18kg

（単位：mm）



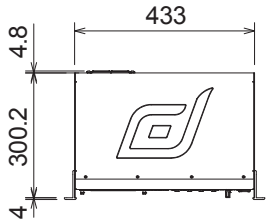
CTi1500 W440×H337×D644mm、11.5kg

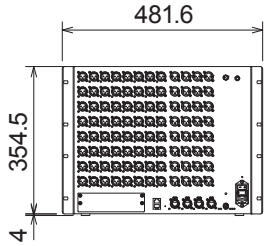
（単位：mm）



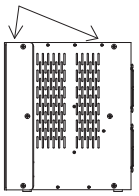
CDM64 W481.6×H354.5×D309mm、13.5kg 8U

（単位：mm）



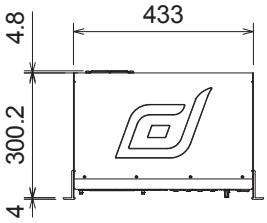


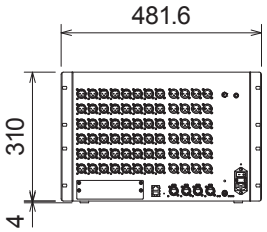
※ラックマウント部は前後で入替が可能。



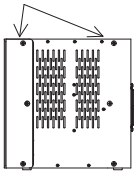
CDM48 W481.6×H310×D309mm、12kg 7U

（単位：mm）



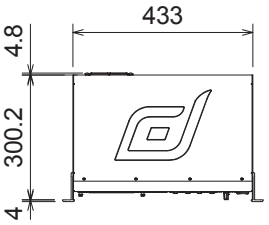


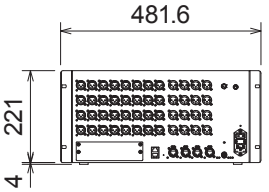
※ラックマウント部は前後で入替が可能。



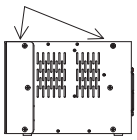
CDM32 W481.6×H221×D309mm、12kg 5U

（単位：mm）





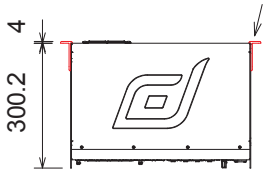
※ラックマウント部は前後で入替が可能。

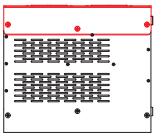


dLive-CDM32,48,64の例

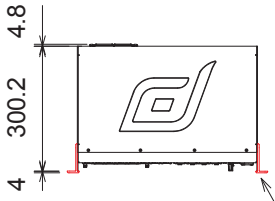
逆側（空冷ファン側）にラックマント金具を付けた場合

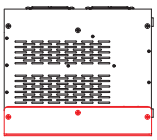
ファン側





端子側

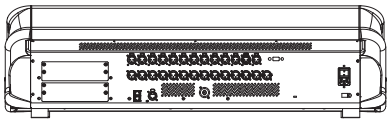


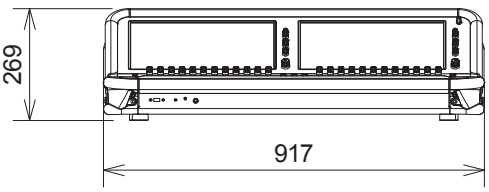


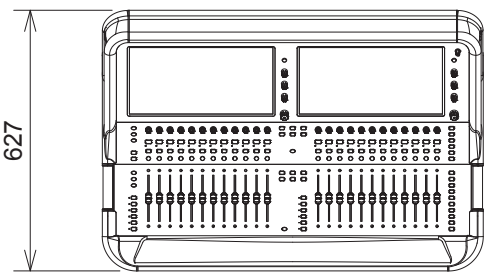
入荷時の正位置

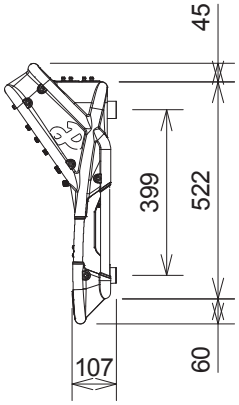
Avantis W917×H269×D627mm、26kg

（単位：mm）





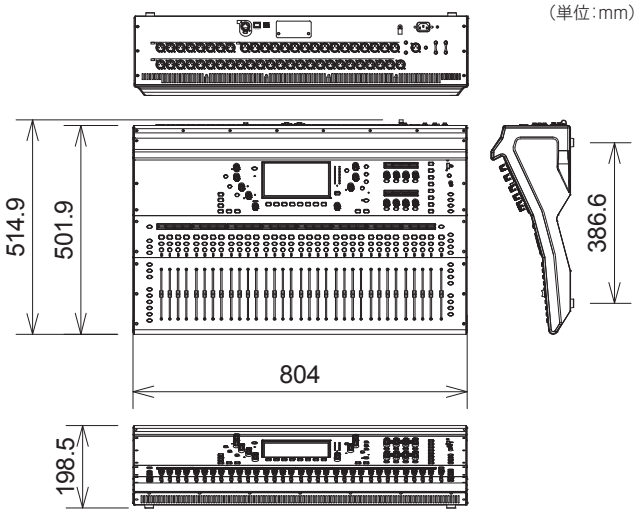




SQ Series

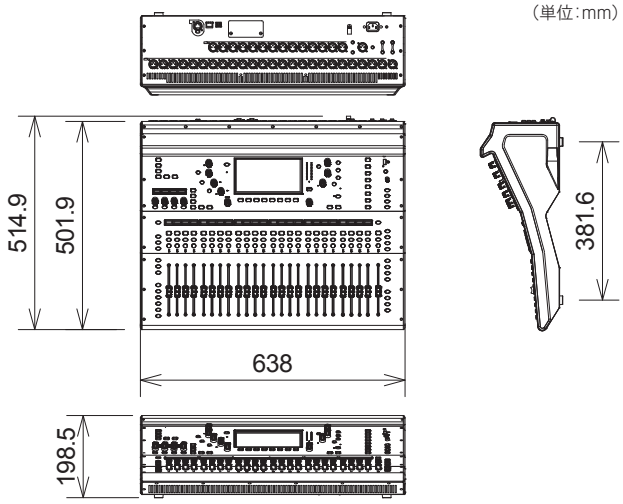
SQ-7 W804×H198.5×D514.9mm、17.8kg

（単位：mm）



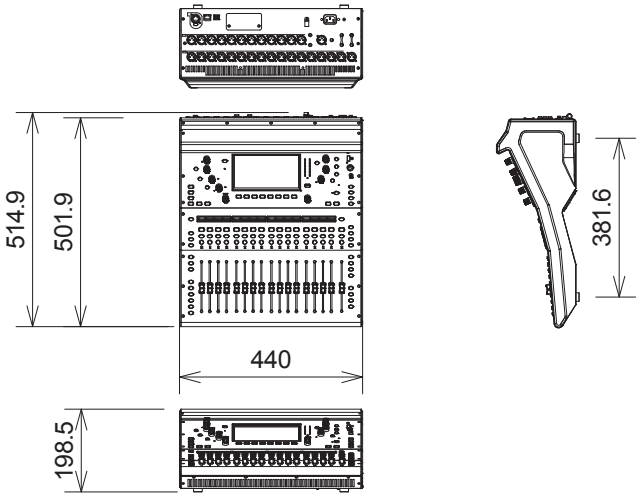
SQ-6 W638×H198.5×D514.9mm、14.5kg

（単位：mm）



SQ-5 W440×H198.5×D514.9mm、10.5kg

（単位：mm）

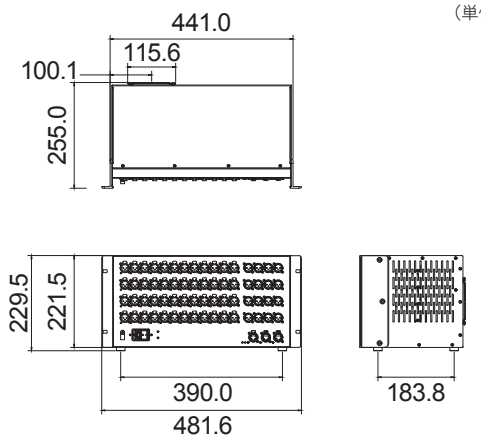


I/O 拡張ラック

GX4816 W481.6×H229.5×D255mm、8kg

5U

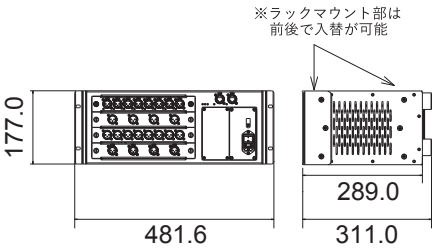
（単位：mm）



DX32 W481.6×H177×D289mm、10.5kg

4U

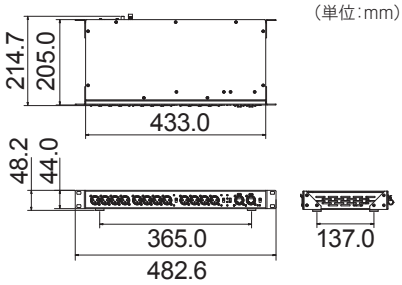
（単位：mm）



DX012 W482.6×H48.2×D214.7mm、2.95kg

1U

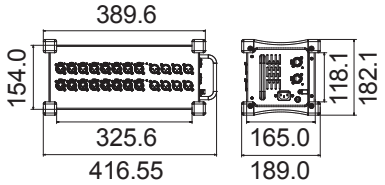
（単位：mm）



DX168/DT168/AB168

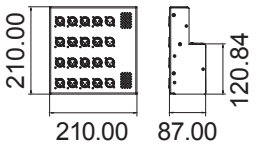
W416.6×H182.1×D189mm、4.6kg
(AB168：4.8kg)

（単位：mm）



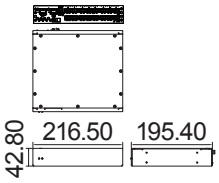
DX164-W/DT164-W W210×H210×D87mm、3.2kg

（単位：mm）



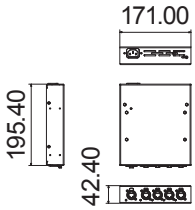
DX88-P W216.5×H42.8×D195.4mm、1.5kg

（単位：mm）



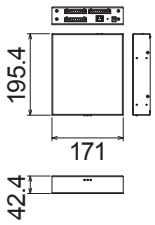
DX Hub W171×H43×D203mm、1.2kg

（単位：mm）



GPIO W171×H42.4×D195.4mm、1.2kg

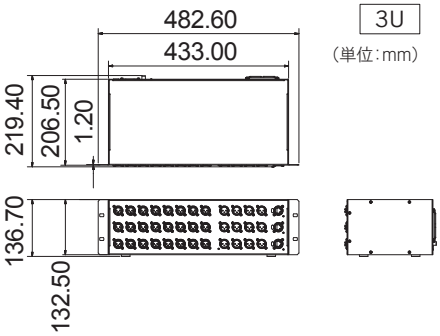
（単位：mm）



AR2412 W482.6×H136.7×D219.4mm、5kg

3U

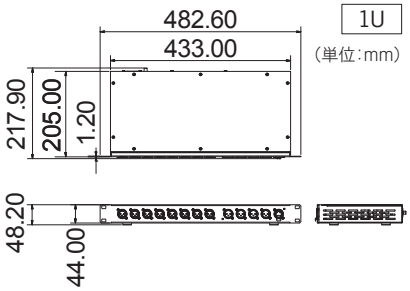
（単位：mm）



AR84 W482.6×H48.2×D217.9mm、3kg

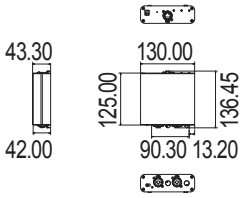
1U

（単位：mm）



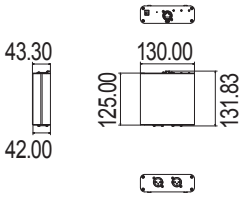
DT20 W130×H43.3×D136.45mm、0.5kg

（単位：mm）



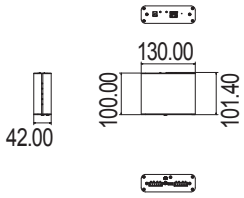
DT02 W130×H43.3×D131.83mm、0.5kg

（単位：mm）



DT22 W130×H42×D101.4mm、0.5kg

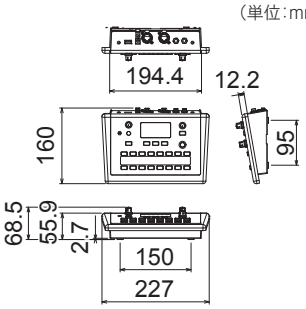
（単位：mm）



ME

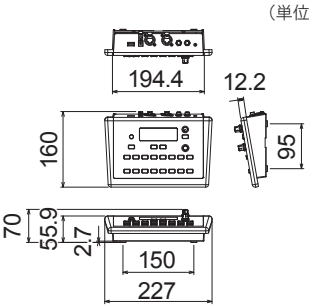
ME-1 W227×H68.5×D160mm、1.1kg

（単位：mm）



ME-500 W227×H70×D160mm、1.1kg

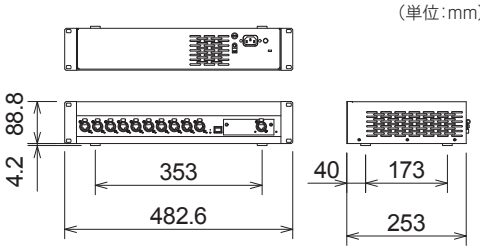
（単位：mm）



ME-U W482.6×H88.8×D253mm、4.6kg

2U

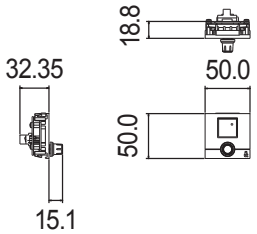
（単位：mm）



IP

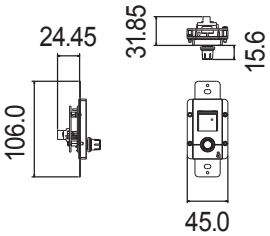
IP1-EU W50×H50×D32mm、70g

（単位：mm）



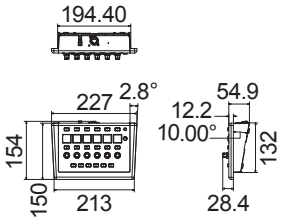
IP1-US W45×H106×D25mm、100g

（単位：mm）



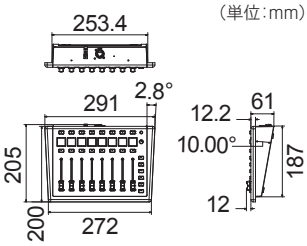
IP6 W227×H55×D154mm、1.5kg

（単位：mm）



IP8 W291×H61×D205mm、2.5kg

（単位：mm）



ALLEN&HEATH

ヒビノインターサウンド株式会社
〒105-0022　東京都港区海岸2-7-70
TEL: 03-5419-1560　FAX: 03-5419-1563
https://www.hibino-intersound.co.jp/　E-mail: info@hibino-intersound.co.jp